

# マツダ新報

昭和十二年 十一月號 VOL·XXIV·NO·X

新照明學校號



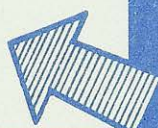


# マツダ時間計



工場能率の  
改善と増進

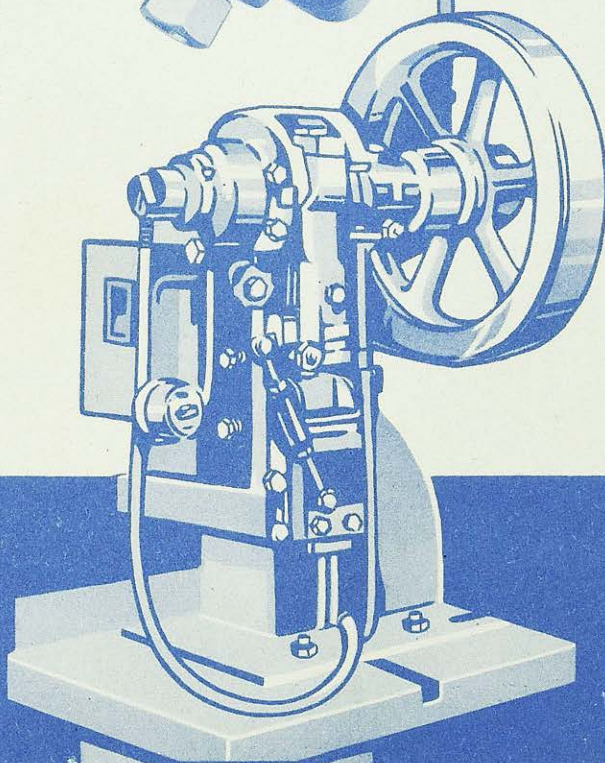
マツダ時間計は機械の實動時間と空轉時間を測定して使用率を算出し得工場能率増進の爲めに御使用を。



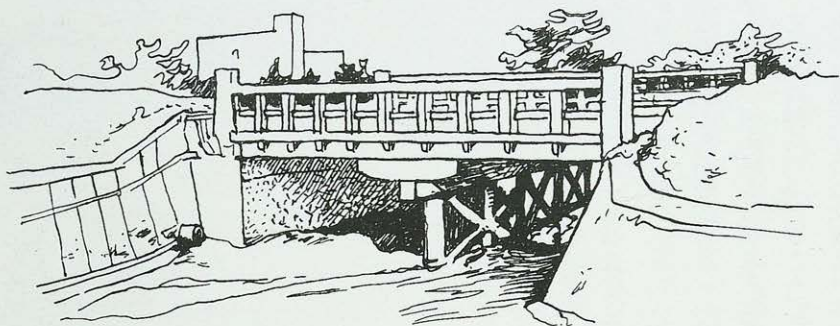
## 【應用例】

- 一、定速生産量の推量
- 一、電機器の使用時間測定並に壽命試験
- 一、同種機械の均一時間の運轉測定等

(カタログ呈上)



川崎市 東京電氣株式會社



# マツダ新報 新照明學校號

(第二十四卷第十一號)  
昭和十二年十一月號

## 目次

ラヂオ普及上より見たる

農村配電線路改善の急務に就て(上).....工學博士伊藤奎二(二)

湘南地方觀光驛と高壓水銀燈.....東京鐵道局兼電氣部電力課 田保正(八)

新照明學校.....關重廣(一〇)

新照明學校の建築.....守屋政雄(一三)

新照明學校の電氣設備.....マツダ照明學校 岡崎公男(一七)

マツダ講堂の舞臺照明に就て.....東京電氣・照明課 荻野一雄(三一)

新照明學校が出来るまで.....關重廣(三四)

少年少女書方圖畫の當選展を見る.....編 部(三六)

ニューース.....編輯 部(三八)

生活の宿題.....日吉早苗(四四)

編輯後記.....(四八)





## ラヂオ普及上より見たる

### 農村配電線路改善の急務に就て (上)

第二回 ラヂオ講習會講演——

工學博士

伊藤 博 二

#### 一、緒言

只今御紹介に與りました伊藤であります。ラヂオ普及上より見た我國の農村配電線路改善の急務、即ち今後我國のラヂオの普及發達を計るにはラヂオ開發上から見て、今日迄未開發の儘残されてゐると云ふても過言でない農山漁村に對して、之れが主力を注がなければならぬのであるが、それには農山漁村全區域の隅々まで行き届つてゐる現在の夜間配電線を、一日も早く晝夜間配電線に改善整備することが、何よりも大切な先決問題であると云ふことに就きました、之れから御話申上げること致します。

御手許に差上げました謄寫版の内容目次の順序に従つて御話を進めることに致しますが、其の謄寫版に印刷してあります表や圖面を御参照になつて戴きたいのであります。

我國現在農山漁村に於けるラヂオ普及狀態を、都市のそれと比較するときに其の懸隔のあまりにも甚だしいのに驚くばかりである。

従つて我國が將來ラヂオを容易に開拓し得る方面は農山漁村であるから、今後此の方面に向つて主力を注がなければならないことは茲に説明する迄もない。勿論從來とても相當農村方面にラヂオ普及の努力が拂はれたにも拘はらず、其の實績が殆擧つてゐないのは何故であるか、其原因は種々あるも根本的原因と見るべきは、我國の農山漁村には電燈の夜間線は隅々迄非常によく行き渡つてゐるのに反し、ラヂオを聴くに必要缺く可からざる晝夜間線が農村に殆ど行き渡つてゐないからである。即ち農山漁村のラヂオ普及を計るには、第一に電氣供給會社が從來の夜間配電を晝夜間配電に改善することが先決問題であると云はねばならぬ。然らば今日迄供電會社は何故に此の方面に晝夜間線の施設を怠つてゐたかと云へば



(一) 從來農山漁村方面に於ける電氣の需要は主として電燈のみに限られ、それも夜間定額電燈のみであつたがため、供電會社は夜間配電線の普及に専心してゐたからである。

(二) 現在にあつてはラヂオ負荷は供電會社にとりて非常に有利であるとの認識を持つやうになつてゐるが、數年前迄はラヂオ負荷に對する正しい認識を持たず、ラヂオの普及に無關心なりしたため農山漁村に對し晝夜間配電の普及に努力を拂はなかつたからである。

(三) 供電會社としては農村に對し、現在採算を無視しても、將來ラヂオ負荷の増加を見越して晝夜間配電を施設せば、必ず數年後には採算の引合ふ地域にあつてさへも、之れが計畫を躊躇し、新らしきラヂオ加入申込者ありし場合には晝夜間線を僅か「スパン」乃至「スパン」程度の延長によつて供給し得る場合に限り無料にて之れに應じてゐたのであつて、何等積極的ラヂオ普及の意志がなかつたからである。

右の次第なれば從來一般に供電會社は、農山漁村に對して出來得る限り經濟的なる晝夜間配電の裝置について深き調査研究を試みないで、舊式な不經濟な方法にて農村に晝夜間線の延長を行つてゐた憾みがあつたために、今日の如く同方面に於てはラヂオ普及率が都市方面に比して、非常な懸隔を生じたものと言はなければならぬ。

## 二、我國都市と農村に於けるラヂオ普及率に就て

昭和十二年三月末日現在調査による我國市部と郡部とに於けるラ

ヂオ聴取加入者數は第一表に示すが如くであつて、ラヂオ普及率を世帶數にて市部と郡部と比較してみると次の如くである。

市部 四二・一％  
郡部 一〇・四％

市部に比し郡部のラヂオ普及率は僅かに四分の一に過ぎないと云ふ極めて貧弱なことを知ることが出来る、即ち將來ラヂオの開發に主力を注ぐべき方面が郡部にあることは以上の比較によつても一目瞭然で何等説明の要が無い。況や我國農村文化向上の觀點からするも郡部に於けるラヂオ普及の緊急なることは勿論である。今日市部と郡部とのラヂオ普及率に多大の差違を生じた最大原因は前述せる如く市部にはラヂオを聴取するに必要な晝夜間配線があまねく普及せるに反し、郡部には晝夜間配線が殆ど普及してゐないためと見るべきである。

第一表 聴取加入者調  
(昭和十二年三月三十一日現在)

管轄別	總加入者數			世帶數	百世帶當	
	管内計	市部	郡部		市部	郡部
直轄	1,196,284	931,020	265,264	3,952,252	53.2	12.1
大阪	804,904	586,745	218,159	2,829,351	43.3	14.8
名古屋	337,608	189,260	148,348	1,647,611	38.5	12.8
廣島	159,627	79,782	79,845	1,366,284	25.1	6.6
熊本	221,782	117,084	104,698	1,988,477	24.3	6.9
仙臺	106,365	42,040	64,325	1,170,118	24.8	6.4
札幌	78,253	40,867	37,386	610,932	26.8	8.2
計	2,904,823	1,986,798	918,025	13,565,025	42.1	10.4

ある。

現に昭和十年二月東京逓信局が同管内一府八縣に亘る農村に於けるラヂオ未加入者調査を行つた際の結果によれば、同逓信局から發



せられた「晝間電氣がつけばラヂオをお付けになりますか」の質問に對して「晝間電氣がつけばラヂオを付けます」と云ふ回答、即ち晝夜間配電となればラヂオ聴取をしたいとの希望者は全回答者六一、〇九六名中實に三七、三八三名に達してゐた、即ち全回答者の六一%は現在晝夜間配電が無いからラヂオを聴いてゐないのであつた。此の東京逓信局の調査によるも、農村に於けるラヂオ普及率の極めて少きは現在晝夜間配電の行渡つてゐない證據であると云ひ得るのである。

現に此の東京逓信局の調査報告に基づいて東京電燈株式會社川越支社及び前橋支店に於てラヂオ聴取者勧誘を行つたところ、非常に良好なる勧誘成績を得、次の如く發表してゐる。

(一) 東京逓信局の調査報告に依つて、晝夜間線が普及せざるために、未開發の儘残されてゐる農村ラヂオ未加入者の意向を判然と統計的に分類して認識することが出來て、ラヂオ開發計晝上貴重なる參考となつた。

(二) ラヂオ新需要開拓に當り從來の方針にて晝夜間配電線路を延長しては採算が得られない區域と考へられてゐたものが、此の統計によつて配電線路を延長しても充分採算を得る見込みがつき、直ちに開發に着手することが出來た。

(三) 晝夜間線延長工事を計畫するに當り、比較的有利に多數の聴取者を獲得せらるる區域を第一に豫知することが出來た。

之れを見ても明かなる如く、從來供電會社が農村に晝夜間配電線路延長工事の計畫をする場合には將來聴取者が増加することを豫想せず、ラヂオ聴取申込者の現在數のみから、果して採算が取れるか

否かを判斷してゐたからして、農村に晝夜間配線の普及が緊要なことを知りながら、遅々として進まなかつたのである。されば供電會社としても積極的に農村にラヂオ普及を計るには、先づ此の東京逓信局が行つたやうな十分の調査資料を集め、最も有望の區域より順次晝夜間配電線路の延長を實行し、一日も早く農山漁村全部を晝夜間配電化しなくてはならぬ。

### 三、夜間及び晝夜間電燈需要家に於けるラヂオ普及率に就て

昭和十一年受信機普及關東委員會に於て東京中央放送局管内供電會社四〇社につき、農村電燈需要家の晝夜間配電線普及の現状調査を行ひたるに第二表の如き結果を得たのである。

第 二 表

電燈需要家數	戸數	百分比%
夜間のみラヂオを聴取し得る需要家數	一、二七三、六六三	一〇〇・〇
晝夜間ラヂオを聴取し得る需要家數	九、九、六四	七三・〇
現在晝夜間ラヂオ聴取需要家數	三、四、六七	二七・〇
現在晝夜間ラヂオ聴取需要家數	五、四、七五一	四三・三
現在夜間ラヂオ聴取需要家數	三、三、五三七	一・一

即ち第二表によれば供電會社四〇社の農村に於ける總電燈需要家數一、二七二、六六二に就て、現在晝夜間配電を行へる電燈需要家數は僅かに三四三、六八七、即ち全電燈需要家數の二七%にして、夜間配電を行へる電燈需要家は實に九二九、九八四、即ち全電燈需要家數の七三%に相當してゐる。

斯くの如く農村地方にありては現在晝夜間配電の普及してゐるの



は僅かに二七%であつて、残りの七三%は夜間配電であることを知ることが出来る。此の例に徴するのみならず、他の調査資料によるも、現在我國農山漁村區域にありては全國を通して電燈需要家の約七〇%は夜間配電を受けてゐて、残りの約三〇%が晝夜間配電の恩恵を受けてゐるものと見て差支へないと思はれる。

右の結果から農村に於ける現在ラヂオ普及率を晝夜間電燈需要家と夜間電燈需要家とに區分して比較して見ると次の如くなる。

晝夜間電燈需要家ラヂオ普及率 百分率  
一六・〇%

夜間電燈需要家ラヂオ普及率 百分率  
一・五%

以上の普及率から見ても同一農村にありても晝夜間線の存在せる區域に於けるラヂオ普及率と、夜間線のみ存在せる區域に於けるラヂオ普及率には多大の懸隔のあることが明瞭となつたわけで、此の數字は如何に農村ラヂオ普及に對して晝夜間配電の必要であるかを如實に物語るものである。猶晝夜間電燈需要家に對しても將來ラヂオ勧誘の有望なるを認むることは勿論であるが、更に現在夜間電燈需要家にありてラヂオ勧誘には殆ど手が着けてない、即ち處女地の儘殘されてゐると云つても過言でない、將來現在の夜間配電線路を晝夜間配電に改善整備することによつて、餘り努力を拂はずとも多大の開発を得べき最も有望なものと言はねばならない。

#### 四、農村配電線路の現状

我國に於ける電氣供給事業發達の歴史を検討するに、家庭に於ける電氣の利用が最初電燈から始まつたことは世界各國同様で今更説明する迄もないが、其の電燈供給規程として我國には世界中他に其

の例を見ない定額料金制なるものが都市、農村を通して最初に發達普及したものであつた。即ち電氣は夜間定額電燈のみに供給せられて、供電會社も需要家も共に満足してゐた時代が可なり永く續いたのである。然るに大正の初期頃から電燈以外に電熱とか動力とか家庭電氣器具が追々市場に現はれるやうになつたがために、先づ都市に従量制による晝夜間電氣供給が漸次擡頭して來て、今日では都市によつて多少異なるも、三燈或は五燈以上の電燈需要家は殆全部従量制によつて晝夜間配電が行はれ、ラヂオ・電熱・小型動力等のあらゆる家庭電氣器具が盛に普及されるやうになつた次第である。

然るに農村の大部分は依然として定額夜間電燈の供給を以て満足してゐなければならぬ現状である。勿論農村にも大正の末期頃から農事電化の聲を聞くやうになつて電動機の需要が漸次起つて來たために晝間配電を行ふ必要に迫られた次第である。従つて農村に於て工場其他動力負荷の密度特に高き地方に於ては晝夜間動力線を新たに施設することになつた。然しながら動力負荷の密度の稀薄なる農村の大部分に於て最初に採用せられた方法は、從來の夜間のみ電流を送つてゐた電燈配電線を利用して、晝間も電流を送つて動力に電氣を供給することにした、即ち從來夜間電燈配電線を三相式に改造して朝夕二回の切換裝置を用ひて、夜間、晝間、晝夜間用の三種の變壓器を用ゐる、夫々夜間負荷、晝間負荷、晝夜間負荷に對して電氣を供給する所謂三相順投配電方式が漸次全國の農村に採用されるやうになつて來た。元來此の配電方式なるものは根本的に不經濟なるものであつて、電氣需要密度の密なる區域には割合に有利であるけれども、密度の粗なる區域に對しては誠に不經濟なものである。



其後之れと類似の三相並に單相配電方式も次から次へと考案されて、今日では需要密度の粗密に應じて配電方式は適材が適所主義に採用された形であつて、何れも根本原理には大差が無いけれども、種々複雑した配電方式が採用實施されて、まるで配電方式混亂狀態とても云ふ有様である。

以上種々の配電方式が過去二十年間に亘り次から次へと考案實施され電燈や動力に配電することは可能となつたけれども、現在及將來の電力需要に對して現在の方式が果して適當であるや又經濟であるや今後大に研究を要するものと見なくてはならぬ。特に需要密度の粗なる農村のラヂオの如きものに對して經濟的に晝夜間配電をする方式に到つては、今日迄餘りにも研究が足りなかつた憾みがある。と云はねばならぬ。然しそんなことには無頓着に近年ラヂオの普及發達は非常な勢で都市から農村、農村から漁村へと滔々として流れ込むで來たために、供電會社としては茲に何とかして新しい出来るだけ簡単な配電方式によつて、經濟的に農山漁村のラヂオに對し晝夜間配電をしなくてはならなくなつて來た次第である。

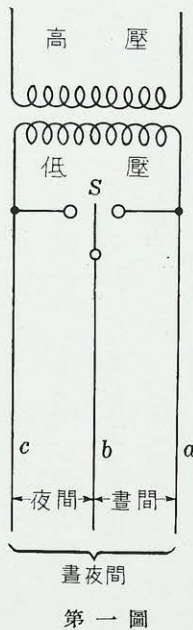
### 五、農村晝夜間配電の經濟的施設に就て

以上我國農村に於ける配電線の現状の大略を説明したが、次に現在農村にラヂオを普及させる方法として配電線路を改善するにしても、新設するにしても、最も經濟的で、且保守上からも良好なる方法は如何なるものであるかを研究してみたいと思ふ。勿論農村の電燈にしろ、小型電動機にしろ、ラヂオにしろ其の需要密度は一般に稀薄であるものと考えなければならぬ。従つてラヂオ普及のために

現在の夜間電燈線以外に新たに晝夜間専用線を施設することは需要密度の特に高き區域は別として、普通一般には先づ經濟上許されないものと見なければならぬ。

又同一理由によつて前章にて説明した種々の配電方法の内夜間、晝間及び晝夜間配電に對して夫々別々の變壓器を採用する方法も經濟的に種々の缺陷を有するものであつて推奨することが出来ない。されば高壓側の配電線は勿論のこと、變壓器も同一のものを使用し、夜間、晝間及び晝夜間の三種の配電を行ひ得る裝置が農山漁村のラヂオ普及には、あらゆる點から見て望ましいものと云はなければならぬ。又保守の點から見ても自動切換開閉器は高壓側よりも低壓側に設けて、變電所から朝夕二回の停電を與えることによつて三種の配電を行ひ得るものが好ましいことになるのである。

そうなつて來ると今日市場にある此の種の製品で、以上の條件にあてはまるものは先づNDO式と岩松式と二種類の自動切換開閉器と云ふことになるのであつて、其の根本原理は第一圖に示す通り兩



者共に同一であつて、變壓器の低壓側よりa・b・c三線を引出し、其兩側即ちa・c線間は切換開閉器Sの位置如何に拘はらず常に晝夜間配電となり、切換開閉器Sを右側に閉ぢた場合にはb・c線間は夜間配電となり、之れを反對側即ち左側に閉ぢた場合にはa・b



線間は晝間配電となるものである。従つてラヂオの如き晝夜間負荷はa・c線間から供給せられ、電燈の如き夜間負荷はb・c線間から供給せられ、動力の如き晝間負荷はa・b線間から供給されることになる。此の切換開閉器Sを操作するためには、變壓器の高壓側の電源を變電所にて停電させなければならぬから、毎日朝夕二回の停電が必要となつて來るのである。

NDO式にありてはダッシュボットの働きによつて切換開閉器の操作を制御してゐる關係上、普通毎朝約六十秒間の停電が必要で、此の六十秒間の停電によつて今迄夜間配電であつたものが晝間配電に切換はるものである。又毎夕約五秒間の停電が必要で、此の五秒間の停電で今迄晝間配電が夜間配電に切換はるものである。

岩松式にありてはダッシュボットを用ゐないで停電の度毎に交互に晝間、夜間と切換えるやうになつてゐるから朝夕二回の停電は何れも數秒で差支えが無いのである。

此の切換開閉器に特殊構造のものを採用すれば標準型柱上用變壓器を用ゐて、晝夜間及び夜間は一〇〇ヴォルト電壓を供給し、特に晝間動力に對しては二〇〇ヴォルト配電を行ふことが出来る。即ち農村配電線路は非常に長いのが普通で、電壓降下も相當にあり得るものと見なければならぬから、動力に對して二〇〇ヴォルト配電を行ふことは多大の利益があると云はなければならぬ。猶此の切換開閉器なるものは、切換の必要のある場合は各變壓器毎に一箇宛之れを同一柱上に取附けなければならぬから、此の切換開閉器の數は多數使用することになるのである。勿論此の自動切換開閉器を用ゐて晝間配電の必要な区域、即ち晝夜間と夜間のみの配電區域

にも配電することは可能である。

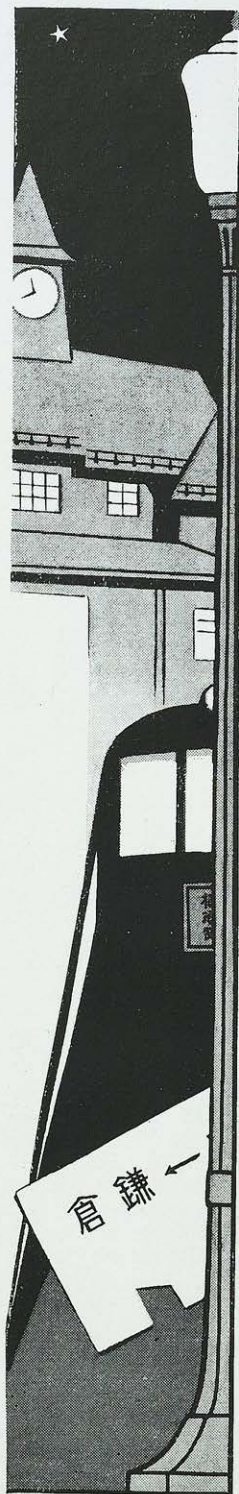
## 六、東京電燈千葉支社ラヂオ特賣の成功に就て

東京電燈株式會社千葉支社に於ては昭和十一年九月十日から十月末日迄にラヂオ特賣を試みて非常に優秀な成績を收めたことは全國供電會社間に注視の的となつてゐる。最初同支社從來の經驗によつて四、〇〇〇臺のラヂオを五〇日間に販賣する計畫で、千葉縣下一齊に勧誘を開始したところ、豫定の四、〇〇〇臺は賣出開始後十日間を出でずして賣盡し、豫定の五〇日間には實に一一、〇三八臺の現金販賣に成功してしまつた。

此の意外の優秀な成績を挙げた原因について考慮してみると、此の賣出が計畫の當初から最後迄科學的に統制をとつたこと、職員上下一致の死者狂ひの努力をしたこと、優秀なるラヂオを廉價に提供したこと、此の賣出を特に農家の經濟狀態の良い時期、即ち購買力の旺盛なる際に現金取引を行つたこと等、種々の原因があるけれども、何と云つても看過することの出来ない最大の理由は約二年前より數萬圓を投じて、前述せるNDO式自動切換開閉器によつて千葉支社全管内に亘る農山漁村に對して、從來の夜間配電を全部晝夜間、夜間及び晝間の配電を爲し得るやうに改善整備を完成してから、此の賣出を行つたことが此の成功をもたらした最大の原因と言はなければならぬ。千葉支社が採用したNDO式自動切換開閉器は前述した通り毎朝六〇秒、毎夕五秒の停電を必要とするから、其の切換時間はなる可く大切な放送の無い時間を見計らつて、各變電所に於て現在切換を行つてゐるのである。



## 湘南地方觀光驛と高壓水銀燈



兼 田 保 正  
東京鐵道局電氣部電力課

度の向上を示し急に氣持良い程明るくなつた。又電力計、電流計等も接続して各種の記録を採つて見たが定格通りであつた。

この試験には鈴木鎌倉驛長、奥新橋運輸事務所電氣係長、石川大船電力區長等が立會つた外、國府津電力區技手、附近驛長等の見學もあつた。町の子供達も集つて來て「ヤー青い電氣」と騒いでゐた。驛前の通行人も一瞥して行く。讀賣新聞社の記者もカメラ持參で、この「青い電氣」を撮影したが、翌日の神奈川版には寫眞さへ添へて「鐵道省初めて……」なる題で掲載されてゐたさうだ。

扨て町の側から驛の建物を背景にして眺めると建物が浮上つて見え、實に感じが良いのもう一基隣のも取換へ度くなり、工事を急

面には未だ使用されてゐなかつた。

關西の奈良に對比すべき鎌倉には、驛前廣場に三〇〇Wの白熱燈四基をポールライトとして建植してあつたが、中央の一基を先づ高壓水銀燈に換へて見た。白熱燈を發光管に挿し換へ基礎の穴に漏洩變壓器を收納した。回路も一〇〇Vその儘で、費用の關係上コンデンサーを使用せずに、發光管と漏洩變壓器だけで濟ませた。力率の改善には附屬品に費用を要するから、他日研究の上改善するとして今回は見合せてある。

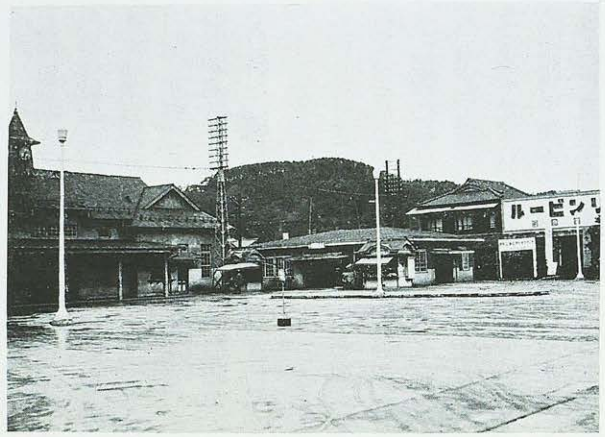
その夜はマツダ精密二號型照度計を持參し、取換前後の照度を測定して見ると、白熱電球で一・五ルクスの點は四ルクス、二ルクスの點は五ルクスと謂ふ割合で、二倍半の照

發光效率が優秀と謂ふ點で急に高壓水銀燈が普及されて來た。東京電氣會社から新橋電力事務所に供試品として高壓水銀燈の一燈分が提供されて居た處へ、恰度鈴木鎌倉驛長からもその話が出たので、本年四月二十六日の夜から鎌倉驛に試験火した處、案外に成績良く、續いて數燈の増設を見るに至り湘南人士の好評を博したので、その經過を非禮ながら申上げる事にした。但し貴重紙面故に急行で飛ばし概略に止める。

實は鎌倉由比ヶ濱には昨年夏より高壓水銀燈七基を砂濱に配列して、夏の夜にふさはしい清涼味を帶びた光を輝かせて、鎌倉人に満悦を與へてゐたのであつた。國鐵としては鐵道博物館に只一つ使用されてゐるが、現業方



ぐ爲、請負工事として手續を急いだが、豫算の都合などで延びて漸く七月十九日夜から點燈し得た。これで驛前ボール四基のうち中央の二基が水銀燈に取換はり、兩端の白熱燈と混光し却て良い光色となつた。處が鎌倉驛には裏口にも外燈一箇（ブラケット燈）があるが、裏口町民が驛長に「裏口にも御願する」「急には豫算がない」「それなら町内で費用を蒐めて請願する……」と謂ふ挿話もあつた位、それ程鎌倉人の好評を博したのである。



鎌倉驛前廣場の照明燈

町役場觀光課員も感謝の辭を述べに來たと言ふ。「商店街の繁榮は近代的照明に正比例する」とマツダ新報に見へる通り、裏口町民の意氣込みたるや至極尤もの譯である。

この模様ではお隣の觀光驛、逗子驛も取換へたらばと思ひ、七月下旬の或る一晚この二基分を取外して、逗子驛前ボールライト二基（矢張り三〇〇W白熱燈）に試點火して見ると頗る感じがよい。横須賀驛前にも試すと前記同様良いので、逗子驛は二基共全部、横須賀驛は五基の内一基、都合三基を直營で取換へ八月十九日夜から點火した。

來夏迄にはもつと増加出来る筈である。熱海驛、藤澤驛などもこの夏は實現出來なかつたが、來夏には清涼の光を放つ事と思ふ。「この光は敢へて夏季に限らず冬でも結構と思ふ、換へずに置いて貰ひ度い」と、鈴木鎌倉驛長も申してゐられた。

先日、大船電力區業務研究會の席上、以上述べた話の外に構造等も簡單に述べた處、石川電力區長も「斯う謂ふ新らしい電燈は各人の常識として知つて置かねば成らぬ。先日或人に鐵道でも鎌倉驛に高壓水銀燈が點いたと話した處が、その人が水銀バイタライト燈と間違へて、旅客の衛生上宜いですナ、と返事

をされたのはこちらが間違つた。國鐵の照明は關西の私鐵などに比べると稍遅れてゐるやうに思はれる、新らしい研究の餘地がある」と講評された。

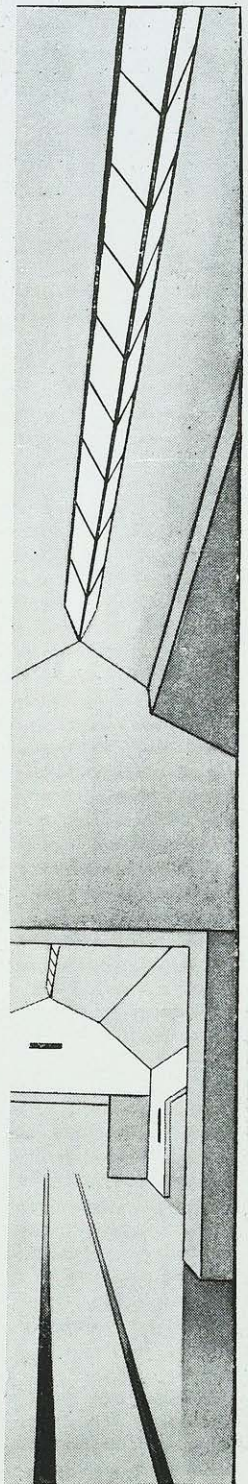
この高壓水銀燈の工事で湘南地方の各驛長連も照明に興味を深くするに至り「近代的の照明を知るため、川崎の照明學校を是非見學したい」と申されたが、折悪しく照明學校は擴張工事中であつたので、工事竣成の秋を待つて、驛長團體の見學を關校長に御願ひしてある次第である。



鎌倉驛前の高壓水銀燈照明



## 新 照 明 學 校



照明學校も漸く新しく更生した、この前の照明學校が完成したのが昭和二年七月で、もう十四年の歳月が流れて居るので、大分古くなつて居る。これを新しくしようといふ計畫の下に、私がアメリカから歐洲に廻つて色々の材料を持つて來たのである。

尤も單に新しい材料を探して、それを此處に据付けるといふやうな、歐米その儘の眞似をするといふやうな意味ではないので、唯我々が獨斷的に色々のことをやつて居ることが、果して當を得て居るかどうかといふことも、考へなければならぬことであるし、又歐米に於て我々の氣の付かないやうなやり方の下に、照明學校が運用されて居るのではな

いか、といふことも調査し、又照明學校以外に色々の照明の實情をみて、日本の將來の照明界をリードするにはどういふやうな設備をすることが果して必要なものであらうか、といふやうなことも研究する爲に、出張を命ぜられたのである。

歸つて來てから相當の歳月が経ち、未だ照明學校は出來ないのか、といふ聲が方々から聞かされて居たのであるが、何分丁度會社全體の建物の計畫が次から次に増えて行く時であつたので、從來の照明學校を單に改良するよりも、この増築計畫の一部に加へて適當な所に多少の擴張もした方が、より上々の策ではないか、といふやうなことから、建築の

## 關 重 廣

計畫の出來るのを待つて居たのであつた。これが漸く定つて從來の建物の隣に新しい建物が出來、一階と二階が食堂になり、その三階を照明學校に貰ふことが出來、更に從來の建物の一部も取入れて、茲に以前の照明學校の約二倍の面積を有する新照明學校が出來上つたのである。

この照明學校の方針として以前から私が抱いて居つた主義は、『照明學校は品物の陳列所ではない』と云ふことである。照明學校は飽く迄照明効果といふものを示す所である、即ち我々が研究し以て最新式の照明と考へるものを照明學校に設備して、其効果を見せようとする所である。例へば茲に新しい一つの



器具が出来たとする、普通の陳列所であればこれを臺の上に乗せて陳列し、その傍にこの器具はかうくかういふ効能があつて、その費用は一時間幾ら、定價はどうであるといふやうな札を立て、説明しておくのである。併し照明學校はさういふことは一切しないで、その器具を實際使つてその効果だけを見せるのである。さうすると一般の人はその効果を味つて、その器具の價値を認識する、それで其印象をいつ迄も頭に残しておいて貰へば宜いのである。

又一般の陳列所でも臺の上に陳列しないで、實際に使用した状態を示して居るやうな所もあるが、このやうな所でもその器具を露出して見え易い所に置いておくのが普通である。しかし照明學校では反對に隠したいものは隠すやうにして居る、實際使用の場合にはかくして陰においた方がよいものを露出して見學者に見せるやうにすることは、この器具はこんな風に不體裁に部屋の中にむき出しにおかなければいけないのか、これでは從來の日本座敷には使へないといふやうなことを思はせる、それよりも隠れるものは遠慮なく隠して了つて、その効果だけが現はれて來ると、これは非常に氣持がよい、さうして部屋

の中に出て來ないから、これなら自分の家に使つても宜いといふやうな感じが人に起るであらう。萬事この調子で新しい照明學校はやつて行つた積りである。

又今度の照明學校で新しい試みだと思つたことは、我々の事務所を事務所照明のモデルルームにしたことである。よく紺屋の白袴といふことがあつて、人には色々理想的なことを言つて居ながら、自分の所は一寸もそれが實現されて居ないといふやうなことがある、事務所照明でもさうである、照明學校の中に模範事務所照明のモデルを造つておいて、別に我々の事務所はいつも暗い所で仕事をして居つたのでは本當でない、宜しくこれは一緒にして我々の事務所即ち事務所照明の模範室といふやうな風にしてみたら、一番當を得て居ると考へて、一般見學者の中でも、事務所照明に多少なりとも關係のある方は我々の事務所に案内して、其處の照明設備をお目にかけるやうにして居るのである。

從來の照明學校は面積が狭く、各部屋も狭かつたので、一回に多數の方をお迎へするところが出来なかつた。これは甚だ遺憾であつたので、新照明學校に於ては、大講堂を造つてこの大講堂に二、三百人を一時にお入れ出來

るやうにした、さうして、この大講堂は映畫も寫せるし、又舞臺照明も出来るやうにした、この舞臺照明は我國でも最初の真空管による調光裝置を應用したものである、客席の照明は細かい本を見る場合をも假定して、明視論によつて推奨される二〇〇ルクスの照度に設計されてある。而もこれは間接照明を應用したもので、間接照明によつて二〇〇ルクスの照度を實現した講堂は、世界の何處にも恐らく無いだらうと考へる。而もこれは決して贅澤な裝置ではない、明視論がはつきりその必要を教へて居るのであるから、將來の講堂は、これを標準にして戴きたいと思ふ、尙客席の照明裝置も唯スイッチで點滅するといふことは、眼の爲に非常に悪いので、真空管の調光裝置によつて、漸次に光が變化するといふやうに出來て居る。

事務所照明を實際に作つたと同様に商店街を造つてみた、以前の商店照明室はその中に陳列されて居るのが電球であるとか、その他色々の電氣器具ばかりで、結局その電氣器具の陳列所の觀があつて、商店の照明効果といふものは生きて居らなかつたのであるが、今度は商店街を造つて、その兩側に色々の新しい飾窓を裝置した。飾窓の照明方法として



は普通の照明以外に側面に光を採つたり、或はスポットライトを使つたり、又は光の柵を使用するか、又は遮光板を使つて横の方から見られても、電球が見えないやうにしたりするやうに色々の考案があるが、それ等を實際に取付けて一般商店の人の参考にした。この商店街は今度の照明學校で最も面白いものであると私は思つて居る。

また色々の照明効果を示す設備も從來は極く小さな装置であつたのを思ひ切つて大きくして、照明と表情の關係とか、晝間と夜の物の色のちがいなど、色々の照明効果の比較が見られるやうにした。詳細は後に寫真と共に説明されるであらう。

尙一つ最後に付加へたいことは製品陳列所を設けたことである、照明學校は製品の陳列といふ主義を飽くまで排するのであるが、然し東京電氣會社の製品全部を見たいといふ方がよくあるので、それに對して照明學校にはごさいせんから、銀座の賣店まで行つて下さいといふことも少し不親切のやうであるといふ理由で、照明學校の本筋とは少し離れるけれども、敢て照明學校の中に製品陳列所を設けて、極く狭い所ではあるが、ケースと柵を置いて照明學校の中に實際に取入れること

の出来なかつた製品を、一切此處に網羅することにした、これは東京電氣會社の製品を見たいといふ御希望の方だけが、自由に御覽になれるやうにしてある。

現在出来上つた照明學校は大體このやうなものであるが、更に繼續計畫として無線實演室、模範電化住宅を豫定されて居る、これは設計は既に出来上つて居るが、その實現は來年になる豫定である、電化住宅は丁度名古屋の三菱の『電氣の家』の如きものにして、徹底した電化住宅を造る積りである、それも唯さういふモデルを造つて唯人に見せるのではなくして、實際にその電化住宅の中で生活をして載いて、其生活の經驗をきくといふやうなこともしてみたいと思つて居る。

無線の實演室には、テレビジョンその他新しい無線科學の粹を聚めた製品を備へ實演して、現在の無線科學がどれ位まで發達して居るかといふことを知ることが出来るやうにしたいと思つて居る。

扨てこうして我が新照明學校は出来上りつゝ、あるのであるが、これを世界各國の照明學校の照明設備に比べたらどうであらうか。

現在最も新らしく、規模も一番大きいとされて居る米國クリーブランドのG・Eの照明

學校はさすがに立派であるが、その内容は種類に於ては我が照明學校より遙かに少ない、舞臺照明、古燈器、無線關係などがない。唯すべての設備が立派で、電化臺所が三種類も作られて居たり、街路照明模型が當校の倍も大きいのが出来てゐて、觀覽席まで出来て居ると云つた調子である。

ニューヨーク市の照明學校はもとウエスチングハウスのもので、市に寄附されたものであるが、立派な商店街が出来て居るだけが見もので、あとは大したことはない。

フキラデルフキア、ワシントン、ロンドン、パリ、いづれも問題にならず、唯ベルリンのオスラムの電燈博物館とA・E・Gの舞臺照明の實演には感心した、然しいづれも當校に同様なのが出来上つたのである。

こうかいて來ると我が照明學校は世界一のやうに聞えるが、現在とはにかく來年電化住宅と無線實演室が出来上つた際には、確かに内容に於て世界一の照明學校となることは疑ひない。唯折角こうしたものを作つても、それを常に新らしく保ち、一般社會の照明の指導標としてをくことは中々容易ではない。これから此點に注意して、舊式照明の見本とならぬやう心掛けるつもりである。



## 新照明學校の建築



守屋政雄

文學に於ける跋文とか作後贅言の中には、それに似合はしい善い隨想が多く點綴される事でせうが、建築に於けるが如く、其使用價值批判の實在するものにあつては、此處に後序の設計をものするなどは、無用の虚飾に過ぎはせぬかと存ぜられます。建築者は、與へられた題目に、得心して作後の饒舌を述べ、其職責の一端を披瀝するよりも、自ら手を下して瑕疵の一個處を繕ふ事の方が、其本分に相應しい行爲であらねばなりません。

諸、東京電氣株式會社が、今日の如く、其事業の一大進展を見られるに伴ひ、我國斯界の發達に貢獻する其内容の廣汎な現代性、特に其日本の使命の重大なる事績を想へば、こ

の豊富なマツダ産業を優れた觀照の材料として、展示する照明學校の増・改設せられるに當つては、是等マツダ製品の眞意を體し、心の需めとして、能く其計畫の表現に盡すべきは自明の理であります。茲に、厚顔の誹に慚みもなく、其眞意を述べるとは謂へ、世の直接生活に關聯する各種器具類の生産に係はれる方々に、他日、それ等の製品形態に、何等かの示唆となつて、裨益するを得れば幸甚と存じます。

最近、マツダは有らゆる科學製品に、益々深く、愈々擴く、飛躍的開發をされつゝある機、其處に電球を象る室を造る事などは、決してマツダの現代性を表徴するものではない

と存じます。假令、會社は電球を中心として、種々なる科學商品を製作研究するからとて、今日、其電球に携はれる人々の、あの同じ物に長い月日、何處迄も、深く専心される地味な仕事の中にも、其性能の年と共に進歩改良される勞苦の結晶、各々特性に應じた驚くべきほど數知れぬ種類となつて、次々に作られる勵みの心を汲まれたならば、卑俗な趣味、感情に墮する斯様な試案は、恰も、上戸が我家を酒樽型に建てて、其處に人生を愉悅すると謂ふに類する事です。事物の形・姿が、其表面のみに捉はれて造られる事の如何に賤しきかは、衣裳の形を繕ふために、無理にする鍔の濫用は、布地を害ひ着崩れ易い理



に、或は、格恰を附けてする人の一舉一動の不自然さに見ても識られます。格恰のための格恰に非ざる形態とは、唯に建築ばかりでなく、職場の機械用具にしろ、家庭の生活什器にしろ、各々良く其目的内容に調和して、其機能が充分に具現される處に、美しさを見られるものです。何れの物の設計でも、何が其物の表現の對象であるかを、正しく理解すべきは熟知されても、空しい自負自稱の姿相を示すに過ぎぬものの多いのは、物の形態意匠までも商品化される時代とは謂へ、自他共に誠に戒心されねばならぬ現象であります。

今や、國を舉げて日本精神の強調される期、我が文化工作の顯揚に有要な地位を占める各種産業の製品形態にも、其思潮感情の接觸に影響あるは、當然、考慮せられる事ながら、其日本的なる表現は、徒に、櫻花や勾欄などに因む照明器具とか、古への使用目的も異なる事物を摸した各種の電氣器具、或は時代の番匠達の繪様拙き夫等の容器の製作では、決してないと謂はるべきです。懷古趣味の奥床しさも心得られぬ、又、時代を解する襟度もない、生産者や意匠者が其名に借りて作爲するものなどは、就れにしても、マツダの本社製品には望ましい事ではありません。

夫等は製品其物の根本形態が、完璧に近く調へられ餘裕あつて後に試みられるべきものとして、ここには斯かる抽象的な物の見方で、日本的な形相を主張するよりは、「——多くて見苦しからぬは、文車の文、塵づかのちり。」と、法師兼好の訓へに心惹かれて、其場内に、多きに過ぎない、又、少きを強いな製品陳列方法でも考へる事の方が、遙かに、健やかな日本の表現であると想はれます。

此處に、我國に於て新建築と謂はれ、其古典的な規範からの解放と國際性を多分に持つ歐羅巴の建築に就いて考へるのは、其感化を受けて、世界各國の多種多様な衣・食・住の調度其他——照明器具や家庭電氣器具類——の形態に迄も、其傾向性を認められるものとして、仲々、有意義な事と存じます。

最近、半世紀も溯らぬ間の世界文化の異常なる發展は、過去數世紀、若くは、それにも増した時代の變遷に拮抗されると謂はれます。かかる驚異的な文化諸相の下に、建築にあつても、其社會經濟の推移、技能・機械の進歩、工業生産化、殊に其代表的構造材料である鐵、混凝土、硝子などの新しい使用價値の異常なる發達に基因して、歐羅巴の新建築

様式の目標は、十九世紀末から今世紀初頭にかけて、彼等現代建築の先覺者達が抱かれて居た建築精神を、更に高揚されたのであります。勿論、夫れには、近世に於ける他の學問や藝術、各方面に見られる文藝思想上の近代精神が、少からぬ役割を努めて居た事は見逃し得られません。

併しながら、近年に到つて、歐洲の建築は、明かに其教示を日本の住宅建築から學び得たと確言されるのは、茲に深く、注目し値ひする事と謂はねばなりません。彼の建築家達は其理想として居た自由な平面構成、部分、形態の規格化、構造・技術の合理化などの問題を、我が住宅建築が既に五・六世紀も以前から實證して居る事を看取したのであります。又、彼等が過去の歴史的様式の拘束から欲して居た自由の理念を、如何なる形態に實現されるかの釋明に、我が住宅建築の空間構成は、彼等が求める機能的な簡潔明朗化に、奇しくも、古來より我が民族の特異な形象上の趣好たる簡素明徹性に合致して、優れた暗示を與へたのであります。且又、我々に冒瀆されて居た自己の住居への解釋が、彼等にとつては理性的な合理化した建築として、然も、生活を決して物質主義的に導かぬもの



と迄も謂はしめたのであります。

唯、夫れが我々の外來文化移植の轍に見られる如く、寧ろ寛大に過ぎる謙虛な度量からではなくして、彼等の風俗習慣よりする國民性、或は氣候風土よりする地方性を充分自覺されて居るので、此處に、其形象を以てする一般への理解は容易でないかも知れませんが、兎も角、精妙を貴び物の完全と整正に美を求め、豐麗巧緻を愛する彼等の形態は、濃厚な彫塑的人工さであるに對し、其上に雅致を重んじ物の未完と不均に美を求め、優趣餘韻を賞した我等の形態は、淡白な素材的自然さであります。之は、彼の建築の壁面や家具調度品の外装、或は庭園の手法などに觀て、我が夫れとを比べるならば、誰しも、直ちに首肯せられる處と存じます。

又、繪畫に於ても、我國の版畫水墨畫の、一見末白なる如き構想やあの墨に五彩在りとして、觀賞者の想ひの儘に委せる枯淡深味が、彼の印象派の繪畫其他に及ぼせる影響に後れて、日本住宅建築を通して、漸く、佗、數奇を尙ぶ意義が彼等に諒解せられ、其本來なる容相が、今日の社會機構に順應する彼等の形態的指向性と、能く融和するに至つたものと看られます。其形態を解くに不即不離の

關係を持つ色彩の問題に就いても、我が住宅建築の素材の自然色を基調としての色彩感には、眞に、驚嘆すべき現代性の具はるものとして、彼我共に、我が先覺の見識に、今更、敬服させられるのであります。我々は現代の色彩に依存する様々な感覺、感情の等閑視するを得ない事象を認識せねばなりません。如上の我住宅建築の教示感化なるものは、彼の住宅建築に見るより、却つて、彼の商店、工場、其他各種の公館建築の規模に窺はれる事は、誠に其意義深く我等の心目に銘ずる事と思はざるを得ません。

然しながら、一時代を劃して、それを表徴する形態様式なるものは、過去の歴史に於ては、數世紀或は夫れ以上も費して完成せられ、又、世界の各地各人、逐一に異なる其性情を省みるならば、今時代を表現支持する形態様式なるものの明示には、尙、時の命題も附加せられるとは謂へ、一般に「新」と「變」とを混同誤解されない限り、彼等新建築の指導精神は概念的に普遍妥當であると考へ得られます。早晚、必ずや、彼等の目標の眞意とする處は、建築のみならず有らゆる器物に浸潤して、其形態化となり、推しては、來るべき時代の様式完成に對向しつゝ、ある事は疑い

の餘地がないと存ぜられます。

振返つて、照明學校に就いては、其任務の重大なるに態度が安易に過ぎたためか、建築として語るに足りる用意を持たない私は、憶面もなき辯明を述べられるに過ぎないのであります。其處には施工者の工事半ばにして急施の社命を快諾遵守された好意には感謝すべきであります。私の精進の足らざる處が如實に表はれ、不手際な粗雑な仕事の残されたるを顧みて、深く羞恥の感を抱かざるを得ません。畫家や彫刻家の制作ならば、自身の思ひの儘に、破棄して再び創り換へる事も出来ませうけれども、建築の仕事は、餘程特殊な事情のものでない限り容易にそれが許されず、是等各部造作工事の不備なる點は、何時迄も後日に殘されて、衆目の識らるる處となります。

それが設計監督者自身の恥辱を曝すに止まるならば、或は亦、時折りの觀者達に惡口を受けるだけで済むものならば、それ程苦にもならぬでせうが、本照明學校の性質上、導者は、多くの大切な見學の方々に、客人に對する篤き心構へを持たれて、照明は素より、電氣一般の諸相を通して生活の意義を實際に啓發せられ、聽者も、其説明に快く納得せられ



て、折角、心氣の赴く儘に楽しく見學せらるべきものを、之が禍して多かれ少かれ、「無意識の識」の裡に、想はぬ壁や天井面の凹凸などの疎漏さが現はれ、真面目な見學者の心理に不快感を起される様な場合を、豫め懸念すべきは肝要な點であつた筈です。甚だ面目の極みであります、私の設計監督上の不覺の致す處として、茲に改めて、心ある識者の御寛容を希ふ次第であります。

本誌上に、適切を缺く厭な比喻ではありませんけれども、名人延壽の至藝に聴き、或は名優梅幸羽左の神技に魅られて、彼の「累・與右衛門」の演技の素晴らしさに、忘我の境地に在られた人々も、想ひを轉じて、假にも此物語に於けるやうな、醜い整形外科の手術も受けられぬ容姿の我子を持つ親の身の感情に立入られたならば、其感は、如何ばかりでありませう。建築者にとつて何れの種類の建物を問はず、それに應じて自己の制作の醜さを反省させられる事は、世の人が醜い我子を持たれて、寂しく抱く愛情の切なさと同等變る處があります。

幸ひにして、種々なる方面に、社内一般の懇篤なる御配慮に與つて、照明學校擔當者各位の長年に渉る御經驗は、參觀せられる人々

に與へる好感に就いての多様の問題——高遠なる電氣理論も平易な學的根據に基き、然も、氣分を飽かす事なき説明の妙味を辨へられて、各室各部の庸を得た製品資料の配置設備とか、常に爽やかな心地を保つに必要な場内清掃など、細やかな心遣ひに至る迄も——に、衷心、講究努力されて居られますから、一般參觀の諸賢に於かれても、東京電氣株式

會社の直接實社會に即する公益機關として、素より、絢爛美を誇つて觀者の眼を奪ふ施設とは、自ら懸隔ある照明學校の趣旨に賛じて、其容器よりも内容に、量よりも質に、他意なく卒直に、會得される其實踐的解説に、有意義な見學を期待され得る事と信じます。

(三七・一〇・一九稿)

世界の方々に照明學校がある。私は一番最初にベルリンのオスラム照明學校を見た。あとで見た米國のところが非常に科學的である。半ば照明研究室と云つた形である。

こゝの地下室に電球の博物館がある。こゝには昔から今に至るまでのありとあらゆる電球が集められて、その數約千五百種類、日本では殆んど見られぬネ

ルンストランプが十種類も陳列されてあつたのには驚いた。恐らくこれは我が照明學校の古燈器陳列室と共に、世界に類のないものであらう。

ベルリンにはA・E・Gの宣傳陳列所がある。これは照明學校ではないが、こゝの舞臺照明

は有名で、見學者の印象に深く残るものらしい。これも確かに他に例のないもので、我が照明學校でも今回いよゝ同様なものを講堂に實施したのである。これに使用するサイラトロン調光裝置は無線會社の製作で、我國最初の試みである。

ベルリンにもまたその後みた米國の照明學校にもあつて見學者を驚ろかせるのは、街路照明の模型であるが、これも近く我が照明學校に出来るから見ていただきたい。

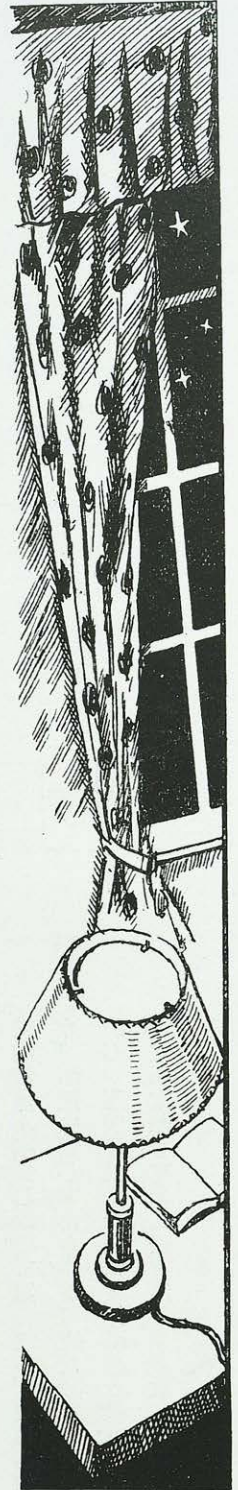
パリの照明學校は極く小規模のもので問題にならない。然しそこを案内してくれたのは米國から同船したフランスの照明技師で、船の中で私はジョセフキ

ン・ペーカーのことを色々話した。彼女が日本でも有名で、私も映畫上のファンなどと話したが照明學校の内にペーカーの像があつて、それが動いて光線が色々變るものがあり、その前に立つた時、案内の技師が「こゝに君の友人がダンスして居る」と大きな聲で云つたので、後からその傍に見學して居た多數の人たちが不思議な顔をして、僕をじろ／＼眺めたには、いささかきまりが悪かつた。

ロンドンの照明學校は丁度火災の跡で一部分しか見られなかつたが、ベルリンと同様中々技術的資料が豊富にあつた。マツダ照明學校長關重廣氏『世界の照明學校めぐり』より



## 新照明學校の電気設備



## 経過

新照明學校の改造計畫も實現を見るまでには種々と都合が生じ、延期を重ねて居りました處、全國高等女學校及び女子師範學校の先生方の照明講習會が去る八月二十五日に開催と決定したので、その日を期して大體を完了その會場に當て、此處に待望久しい新装の照明學校の誕生を迎へるに至りました。

その内容の大體は第一圖竝に第二圖に示して置きましたので、對照して御覽下されば大

略御理解を頂けることと思ひます。改造と言ふよりは増改築で、第二圖の太線内に大改増築を行ひまして、舊照明學校の街路照明室、舞臺照明室等は面影もなく、文字通り近代化して新照明學校と成り、舊照明學校の部分に對しても相當廣範圍に改造を加へました。第二圖の點線内も照明學校の改築分野でありまして、今回の工事と共に完成したかつたのであります。色々の都合で残念ながら、第二期工事と成り、來春より工事に着手し、我等の大照明學校を出現させたいものと、今より

色々の計畫を立ててをります。

新照明學校の電気配管配線には別にこれと言つて目新しいものを用ひては居りませんが、初期の計畫では一部ファイバードクトに依る配線工事を施行する豫定でありましたが、講習會の開催日の切迫やら其の他に都合を生じ、完成期日を一ヶ月餘も早めねばならなく成りましたので、ファイバードクト配線に對しては入念なモルタル仕上が必要であります故、この工事は遺憾ながら中止することに致しました。然し明春着手の増築部分には

岡 福 角

崎 島 取

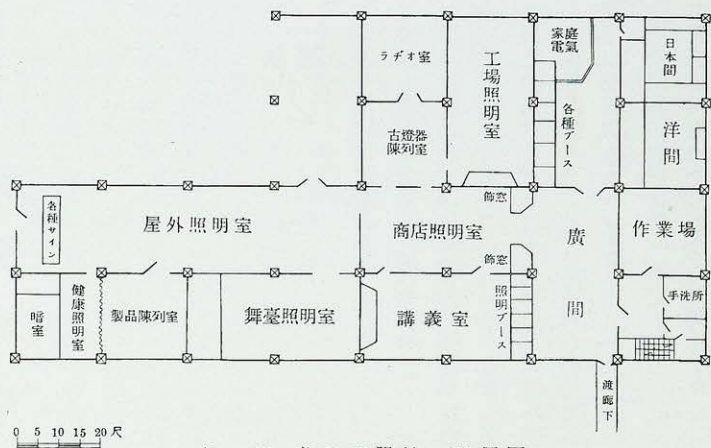
公 德 猛

男 男 司

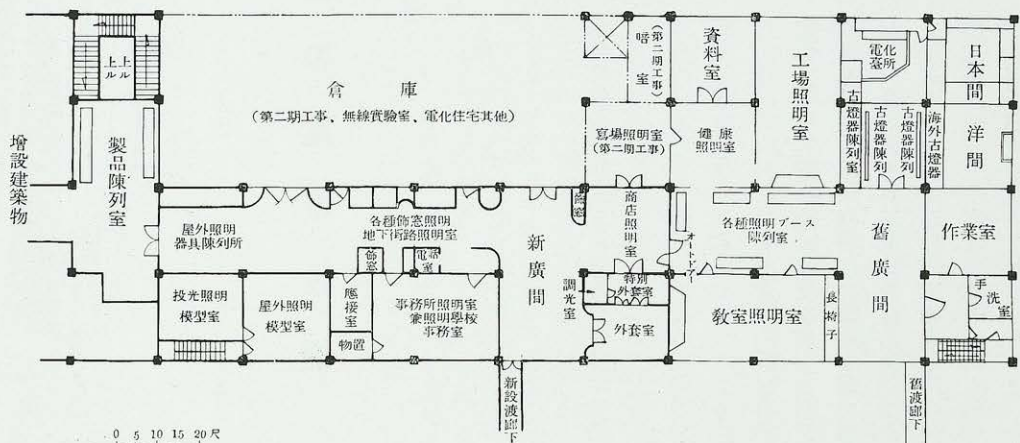
マツダ照明學校



是非施行したいと思つて居ります。  
 全般を通じて照明學校の様な特殊性を多く持つ場所は今後に於て數次、設備變更又は小改造等を伴ふもので、電燈回路の如きは現時使用の二乃至三倍の負荷にも差支へない様に配線して置きました。又電氣時計及び冷蔵庫、冷水機等の回路は専用の晝夜間線からとり、總て照明學校の機能を完全に發揮し得ら

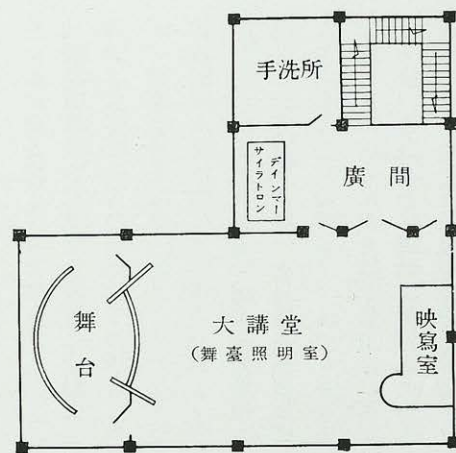


第一圖 舊照明學校の配置圖



第二圖 新照明學校の配置圖

れるやう便利に實施した積りであります。  
 照明に於ては建築設計に際し極く近年まではそれに調和せしめる様な照明方法を以て良とする傾向でありましたが、最近では照明の最大効果を得んとするには如何に建築をなすべきかと言ふ様に變更して來ました。  
 然し或る照明効果を求めようとする時、部屋は既に出現して居る様な場合、結果に於て美的情操を損失しないで照明効果が現れるべく、部屋に對してあらゆる可能な建築方法を講じ、照明効果を最大に發揮出来る様考究した照明方法も充分に表現出來、多數の共感を得られる様考案してあると言ふ様な部屋の建



マツダ講堂の配置圖



築に比較したら劣つて居るとも言へますが、建築家と電気技術者との間に融合調和の必要は勿論であつて、各々の持つ仕事に對して理解を與へるやうな知識の準備打合せ等は必要缺くべからざるものであると思ひます。

各種照明の模範を實施し、その機能の全部を充分表現せねばならぬ照明學校の特殊目的に對しては、更に痛感した次第であります。

## 講 堂

今回落成の講堂は劇場用連結椅子二百二十九名の座席を有して、此頃あちこちに出現したニュース劇場並みの廣さを有してゐます。

主分電盤は講堂入口前廣間に設け、外に舞臺裏に二箇、映寫室に一箇分電盤を設置しました、主分電盤には調光機用主幹スイッチ及び聴衆席用分電盤が附屬して居り、これには講演の際に幻燈、映畫等の映寫中、講師の講義を筆記しようとするも座席が眞暗では頗る不便を感じるので、かかることがない様にプロラムライトを設けて便利に使用出來得るやうに計畫して居り、尙通路燈用にフロアコーンセント回路を設け、映寫中も場内には若干の照度が必要なればコープの青色電球回路を設けて點燈して置く様設備してあります。こ

れにはPS-45の一〇ワットのサイン電球を五〇箇使用し平均〇・五ルクスの照度を得て居りますが、映寫が開始されますとスクリーン

の反射によつて、これより照度は多少増加致します。

調光機用幹線は主分電盤より出して調光機に至り、負荷側へはオーディトリウムの明暗を行ひ、フットライト、ボーダーライト、ホリゾン、クラウドマシンの舞臺照明器具の制御は、舞臺右側にある制御盤によつて遠方制御を行ふやうに成つて居ります。猶舞臺照明の詳細に就ては専門家荻野氏の『マツダ講堂の舞臺照明に就いて』を御一讀願ひたいと存じます。

場内全般照明として上部コープには一〇〇ワット電球一二〇箇を飾窓用K型反射笠に收めて天井を照射し、側壁及び張出天井には下部照明溝に四〇ワット電球一六〇箇を入れて聴衆席の平均照度二〇〇ルクスを得て居ります。兩側の垂直壁が内部に多少の傾度を有し又水平天井が照明上有效な彎曲を有して居りますと、反射光はより有効に座席を照射して利用率を増し、又現在見られる様な兩側壁の暗さも救済出來たと思ひます。

然し、照度としては二〇〇ルクスを得て居り、これを劇場の推奨照度一〇〇ルクスに比較すれば遙かに越えて居りますが、これは劇場としての模範的な照明となります以外に、講堂としての利用が可成りありますので、講堂としての照度をとつた譯であります。それには均齊度のよいものが理想であり、陰影のない點等も申分はないと思はれます。普通行はれて居る最高照度を最低照度で割つた均齊度の表し方で測定して見ますと大略一・八と言ふ數字を得た譯です。

映寫裝置としては場内最後方部に二階建に映寫室を特別に有して一階を補助椅子、その他の爲めの倉庫として使用して居ります。映寫機は目下撰定中ではありますが、大體一六ミリフィルム使用のトーキー設備を行ふ豫定で居ります。將來三五ミリフィルムの場合を考慮して光源となるべきカーボンアークの爲めに、映寫室内の分電盤に直流電源を配線して置きました。

舞臺裏の分電盤は左右に一箇宛設へてありますが、これは舞臺裏で左右兩側の連絡が建築構造上遮斷されて出來ないので、それに對應して使用すべきと思ひ、便利に使へる様に設置した次第であります。

舞臺袖の上部に聴衆席から見える部分には



PS—45サイン電球を三色（赤、黄、緑）三〇箇を用ひ、小型自動調光装置により舞臺上前面に負荷側から出たコンセントと平行して調光する如くしてあります。尙スボットライト用コンセント、映寫幕、綴帳等の開閉装置のモーター等も亦制御盤によつて動作出來、又映寫室に於ても制御盤の一部を動作することが出來て仲々便利有效に使用出來ます。

大體照明學校の分電盤は、新照明學校と舊照明學校に二分し、一つを舊照明學校幹線より取り、他を新幹線より取つて、將來の第二工事分にも行ける様にして置いた譯です。

## 事務室

照明學校係員は新照明學校の完成と同時に校内の一部に照明學校の事務室を設けて此處に移轉しました。これは事務所照明のモデルルームとして一般の參觀者の方々にお見せして居ります。此處には寫眞で見られる如く、直接式照明のシーリングライトで、大體の直径七五糎と言ふ可成り大きいものを二箇つけて居りまして、設計の時は少し大き過ぎはしないかと懸念して居りましたが、いざ製作後取付けて見ると左程でもなく、むしろ輝度を少なくして却つて良い結果を得ました。この

位の大きなものになると、むしろ建築化式照明に近いかも知れませんが、これには圓形の中央部に反射笠をはめ込み、高壓水銀健康ランプを使用して居りますが、これは輝度が非常に高いので、光源からの直射光線を除く爲めに間接式として、反射面には董外線を有効に反射するやうにアルミの吹付けとし、三〇〇ワット一箇を使用して、周圍を白熱電燈一〇〇ワット八箇を以て包み、水銀燈回路は特別に配管してトランスを事務所西側入口側の戸棚の中に入れて、補修や別種健康照明光源の變更に對して容易に變更出來得る様に行ひ、又白熱電燈は四箇つづ點滅が出來、窓より入る畫光に依り任意に机上面の照度を調節され、健康照明を行つた模範的な事務所照明で、床より七五糎の机上前に平均二八〇ルクスと言ふ快的照度が與へられ、日光浴をしながら事務の執れる部屋であります。

又水銀燈獨特の青い色と白熱電燈よりの光と混合して恰も白晝の自然光線下の感を呈して居り、事務能率の向上は勿論、保健衛生上からも好適と思ひますが、婦人方に對して海水浴歸りの様に色が黒くなると云ふ心配も亦ありません。地下四階建のビルディングが出現しようと言ふ秋にかゝる事務所照明は、將

來この方面に大きなものを與へること、信じて居ります。

事務室隣りにカーテンを以て仕切つた小さい應接室を設けスチールパイプ椅子四脚を置き、書棚を設けて壁には押型模様硝子を埋め込み、中にPS—45橙色一〇ワットのサイン電球を入れて裝飾用とし、天井燈には新製品トロジャリヤH型十二吋を直付用の金具につけて、光源は最新の超高壓水銀ランプを使用して居りますが、これのみでは皮膚の色が非常に不快なので、我社照明課三浦氏の考案に成る試作品とも言ふべき、一〇〇ワット電球の硝子球の中に超高壓水銀燈の發光管と普通電球の六〇ワット用のフィラメントを二本並列に同封し、これにスリールイト用口金を付けて、器具をスリールイト用ソケットに改造して、トランスを天井裏に置いて取付けたものであります。

最初スイッチを入れると普通電球のフィラメントのみが點火する譯で、時間の経つにつれて超高壓水銀燈の光束を増し、普通超高壓のみでは五分間を要する處、白熱電球用のフィラメントが發光管と接近してこれを加熱し、超高壓水銀燈の定常狀態に達する時間僅かに一分半に早めて安定させ、その光質は白



晝の如くなりグローブは眞珠の如く見えて、非常に應接對話に對して爽快さを増して居ります。全容量は超高壓水銀燈八〇ワット、白熱電球用フィラメント六〇ワット二本合計二〇〇ワットのもので、平均照度三〇〇ルクスと言ふ明るさは、こうした電球にのみ許されるものであらうと確信して居ります。

尙建築化照明、殊に人工窓照明を行はんとする場合は、必ずこうした電球に依らねば充分に満足出来る結果は得られぬと思はれます。こうした電球が我々の一般照明用電球として愛用され、照明費の低廉は工場照明や街路照明等に大革命を起すのも近い將來ではないでせうか。

又これが電球の硝子に葦外線透過硝子を用ふる時は、大量の葦外線が求められ、僅かな電力消費を以つて、豊富な葦外線量も亦既存の健康照明器具に進出し、やがて他を壓倒する時も目睫に迫つて居ると思はれます。

## 投光照明模型室

投光照明模型室には現在模型としては野球場照明模型及び庭園照明模型のみであります。近くプールの照明模型、テニスコートの照明模型、その他スポーツ照明模型を主とし

て陳列する關係上、天井を四角錐としてその頂點近くに青色一〇〇ワット着色電球三箇を埋め込んだ器具の中に入れ、恰も夜間の感じを出して居り、その前に屋外用照明器具の陳列所を設けて實際に點火して居ります。

この隣りの屋外照明模型室にはあらゆる屋外の照明を模型に網羅して、街路照明器具は各種善惡を電動裝置により點火し、商店の店頭照明、小型サイン、各種大サイン、建築物投光照明、交通照明等を一目して解る如く此處に收める豫定で目下製作中でありますが、この新報の發行される頃には完成すると存じます。この前の通路は天井を三角にして、その頂點の部分には建築化式照明とし、これは光管電球六〇ワット二五本を連續して部屋全部の長さの光梁を作りました。

從來の建築化照明は優良な硝子の出現によつて可成に救済されて居りますが、電球のスポットを嫌ひ稍もすると大きく成り勝ちで、建築物との調和が失はれ易かつたのですが、光管電球の出現によつて、電球によるスポットを克服し、建築物に調和した結果が得られる次第であります。

事務所前通路は寫真に見られる如く地下商店街の感を呈し、この天井燈はこれも光管電

球二五ワット二五本の直接照明とし、從來の言葉で云へば裸電球を其の儘使つて居ることになりますが、内部を塗つて全光としてありますから、輝度は非常に低いので少しの不愉快も感じません。唯ホワイト・ブロンズ仕上の眞鍮板にソケットを取付けるのに際し、絶縁不良に異常の苦心を拂ひました。それには特殊止締を使用しファイバープレートにソケットの下に敷いて萬遺漏なき様にしました。

かゝる電球はネオンサインに飽きて居る現在の照明界に進出し、地下通路、屋外イルミネーション用にも適し、その連續點火は他に見ることの出来ぬ美事を與へて居ります。裸電球をその儘に使用しましても、何等美的効果を失はないことは、照明技術者に對して大きな喜悅を與へて居ります。

兩側の各種飾窓にはあらゆる方法を用ひて商店經營上、飾窓照明に對するよき資料を與へて居ります。尙飾窓の下部には最近製作された硝子煉瓦を使用し、從來嫌はれて居りました下部の暗さを、硝子煉瓦中に電球を裝置することにより完全に解決して居ります。尙この中に小型自動調光裝置を設けて、飾窓下部を各色に滑らかに變化させることも出来、最も新しい試みとされて居ります。



## 新 廣 間

新廣間には全部間接式照明をなし、上部を光管電球二五ワット二三本を使用しまして、

普通電球の間接式照明の様な天井照射面にむらを生ずることなく一様に行はれ頗る美しいもので、器具を非常に小さく作ることが出来て、所謂スマートなものとすることが出来ました。尙側壁の照明溝にはPS 145一〇ワットサイン電球八四箇を使用して間接式照明を行ひ、更にこれにサイラトロン制御によるコロラマ照明を移し、色は四種(赤、橙、青、緑)を使ひ三回路を作り、各回路には同じくPS 145一〇ワットサイン電球五六箇を用ひて、美しいコロラマ模様を彎曲壁に畫いて居ります。尙此處には窓に硝子練瓦を用ひ、太陽光線の氣持よい擴散光を部屋に採ることも出来ます。硝子練瓦は建築材料に晝光照明材料に尙又一般照明材料に、その利用の將來は大いに期待出来ると思ひます。

尙この新廣間の處に(舊の舞臺照明室のステイチに當る部分)渡廊下を新設し表玄関一階入口より直接に來校が出来、この渡廊下の入口には小型調光機をつけた小さなコロラマ照明を行つて居ります。

新廣間前にも飾窓を設けて、これには鏡面反射笠の眩輝を特殊な方法を以て除いて居りまして、各月毎に内部を變へて、大體電氣店向きのものを行つて居ります。

この隣りが商店照明室になり、小さな電氣店を模して天井には各種照明器具を吊り、陳列棚には小さな電氣器具を並べて居ります。現在の内容では少し淋しいので、將來はショウケースも置き、陳列品をもつと豊富に置きたいと計畫して居ります。

照明學校では時々講習會を催す時、從來は外套室のない爲、折々不便を感じて居りましたが、今回は外套室を二室設けて、貴重品の携帯には鍵の掛かる特別外套室を使ひ、その不便を除きました。

この外に新照明學校と舊照明學校の境界のドアには自動扉開閉裝置を設け、光電管により操作させて居ります。これも新製品でありまして、將來はこれが利用多大のものとして、新装にふさわしく設備しました。

他に新照明學校の三階講堂の通路途中に製品を陳列し、マツダランプの全電球約四百種の陳列を筆頭に、各種配線器具、照明器具と言ふ具合に東京電氣會社關係の製品は餘り大きく無いものは全部を陳列してあります。

以上が大體増改築部分の照明學校でありまして、舊照明學校の部分にも相當の改造が加へられました。

## 舊 照 明 學 校

先づ自動開閉扉を通ると元の商店照明室になりますが、この部屋は照明の基礎的なブースを置き、各種飾窓照明のブースによる説明照明方式ブース、リレーフの照明方法及び光の入射方向による表情變化の模型等を置いて、飾窓照明關係のブースには、晝間飾窓を視る人の像が前面硝子に寫るのを解決する方法、又は飾窓照明の各種に裸電球、P 1一笠椀形笠、金屬反射笠及び鏡面反射笠等々を比較して、その効果を一目する如くしたものが、普通電球、晝光電球、眞色燈による商品の相違等は一見して諒解が出来、最近全國各地の實業學校に設置せんとする商業學校の照明研究室には、大いに範となるべきものと思はれます。

この部屋から自動警報機の赤外線を切ると元の舊廣間でありませんが、この部屋は大した改造もなく、依然の如く天窓照明を一〇〇ワット晝光電球四八箇を使つて居り、この部屋のコロラマ照明を新廣間に移してしまつたの



で、その後には三段に切かへられる様に間接式照明を補充しましたが、この廣間の天井燈の將來は、前記應接間に使用して居る超高壓水銀燈を使用する計畫を立て、居ります。

次の部屋の住宅照明室は第二期工事に於て大改造をする豫定でありますので、今回は殆ど手を入れず、洋間は其の儘とし、日本間も障子越の照明等は其の儘にして置き、四角のブラケットを取はずして、昨年照明學會に於て懸賞募集の住宅照明設計に一等當選の當校長關氏の設計になる和室客間用の紙張りの器具と取り替へました。

その前の既存の各種のブースはこれを廢して、古燈器陳列室として現在百餘點の日本古燈器を陳列して居り、壁にも吊り下げ用のものを吊るし、尙海外のものを集收して、斯界の人々の爲めに參考となるやう努力したいと存じて居ります。

尙一部には電化臺所を設けましたが、小規模なもので第二期工事の電化住宅が完成する間までとし、臺所用電氣器具を若干取揃へて實驗に供し、御婦人の參觀者方には大部興味を以つて迎へられて居る様であります。

その他講義室は後方の照明ブースを取去つて、しばしこの部屋の狭さを感じる爲めに

長椅子を作りました。更にこの部屋の主旨を現今惡視弱視が年次に増して居る學徒に對して、その教室照明問題の擡頭する今日、教室照明の模範となし、從來の天井燈を廢し、能率のよい新製品たるトロヂャリヤH型一四吋を窓に平行に各列四箇二列で合計八箇を使用し、各箇に三〇〇ワットを用ふる時は平均照度三〇〇ルクスを得て、長時間の聴講に何等の疲れを感じることもなく、楽しく勉強が出来て、この大きな教室照明問題を克服して居り、ルームクラー二臺を用ひてエアークン

デイションングを行ひ、冷房暖房をなして居ります。こうした高照度に對しては黑板照明を必要と致しませんが、又これが無い方を理想と致しますが、たゞ見る黑板照明の不良は却つて勉強し難いもので、それが取付けの模範を示すため本來は不必要なのでありますが、管型電球六〇ワットを七箇使用した理想的なものを取付けました。

尙教室照明には是非とも自動點滅裝置が必要なので、これを二臺設置し、窓側の四燈と壁側の四燈との各回路に挿入して、自然光線の減少した時は壁側の四燈を先に點火し、尙更に暗くなつた時に窓側の四燈も點火をなす様に、二回線に分けて設置しました。

元古燈器陳列室は健康照明室と改めて、無影燈を始めとして、各種室外線光源による健康照明方法を陳列して置きました。

ラヂオ室を改造して資料室として照明關係の文獻、印刷物、各電燈電力會社の照明運動資料、又は電球の製作工程等を陳列し、照明方面の關係者各位に微力ながらお力添えをしたいと思つて居ります。然し目下の處は第二期工事の都合で、これを倉庫に當て居りますが、年内には使用出來得る豫定です。

工場照明は全然これを改造することなく、講義室の椅子を新調したのみで、以前のものをこの部屋に移して前の物は廢しましたので聴講にも便になりました。電球の上下、扉の壁の自動開閉も其の儘に残してありますが、今後は高效率光線の放電燈を利用した照明方法が絶対に必要と考へて居ります。

この外に電話設備としては外より大森電話、川崎電話の各一本を事務所に入れ、校内専用電話を各所に合計八箇を設置してあり、これはインターフォンを以て當て居ります。

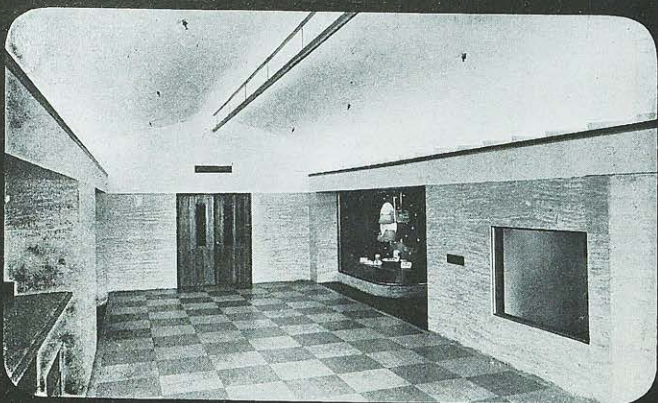
電氣配線方式としては三相四線式を採用して、照明學校下一階の變電室に於て直接高壓を以て受け、二〇〇キロ變壓器をスター結線として行つて居ります。



## 新 廣 間

新設渡廊下から見たもので  
中央天井燈は光管電球 25W  
23燈による間接照明、兩側壁  
上部の照明溝は10Wを84箇で  
間接式照明を行ったもの。

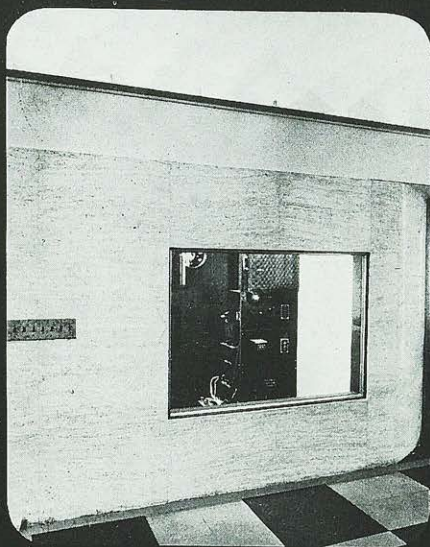
光管電球用の器具はホワイト  
ブロンズ仕上の槌型のもの



## コロラマ照明用自動調光機

各回路は 5kW で全容量 15  
kW と成つて居り、新廣間の  
横にこれのみに一室を設け、  
前面を硝子張りとして、左の  
スイッチのうち右端の一つを  
入れてマグネットスイッチを  
働かして作動する遠方制御式

光つて見える電球はパイロ  
ットランプで、その下の右端  
のスイッチを切ることにより  
任意の模様の出た時、その位  
置で止めることも出来る。



## 新 廣 間

新設廣間のコロラマ照明で  
色は赤、青、緑、橙の4種を  
三階程に変化させ、ホワイト  
ブロンズ仕上の衝立に30Wを  
56箇の回路を3組設け、色電  
球を使用せず、カラーキャッ  
プによるもの。







### 外套室

新設の外套室で照明は特別のものでなく、新製品のトロチャリヤH型12吋で、150W電球2燈を点けてある。コーシ越は特別外套室で、この照明も隣のと同じものであるが100W電球1燈のみである。

### 硝子煉瓦

新廣間の窓に使用したもので、頗る堅牢且つ自然光線の擴散透過光線は、見るからに氣持よいものである。

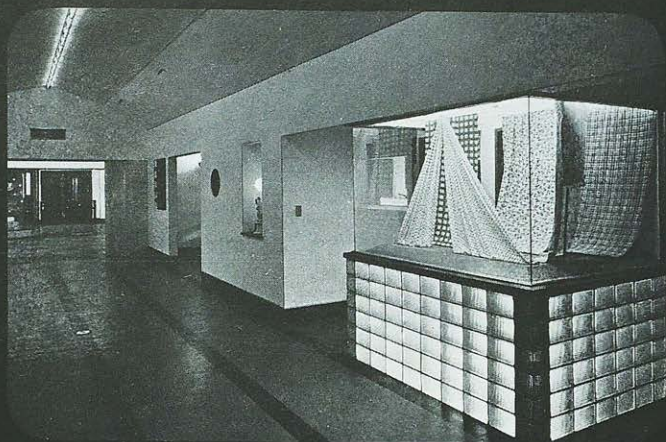
### 新廣間前の飾窓

これは電氣店向きの装飾を毎月行ひ、K型飾窓照明用の鏡面反射笠9箇を使用、電球は150Wが9箇で、各々にカラーキャップを用ひ濃藍、青の二色を交互に入れて、笠の内面の眩輝を除くためルーバーを使用。



## 事務所前通路東側

これは地下商店街に摸した片側で、飾窓は服地店等に用ひられる特別な方法で照明し天井に 25 箇の白色樹を作りこの各樹に 60W を入れて、前の品物の影も出来ず、一番奥のものまでが明瞭に見られる。尚上部電球の直接の眩輝はない。



## 通路全景

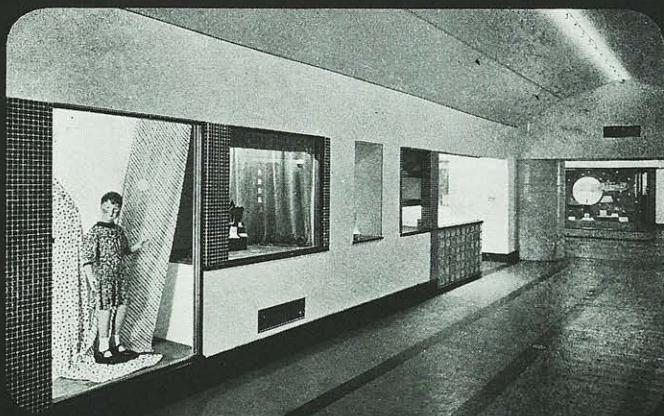
手前の天井燈は、光管電球 60W×25箇の建築化照明で、電球のやうなスポットを生じないので美しく見える。

左端は第二期工事をされる無線實驗室、電化住宅、その他へ行く通路、寫眞の一番奥の突當りに半分見える扉に自動扉開閉裝置が設置してある



## 事務室前通路西側

これは地下商店街の反対側で、各種の飾窓照明が置かれてゐる。天井燈には光管電球 25Wを25箇用ひ、誠に美事さを表してゐる。







### 新照明學校事務室

照明から脱線して寫眞，右より折登，松井，山本，角取，關，岡崎，福島の各係員。

天井燈の中央は高壓水銀健康ランプ，周圍に100W×8箇を二段點滅で100W×4箇宛。

日光浴下の執務で各自益々勇健と言ふ型。



### 事務室照明器具

直徑75cm中央の帽子は高壓水銀健康ランプの直接眩輝を除いたもの，反射笠はアルミの吹付け。

全容量は白熱電球が100W×8=800W水銀燈300W合計1100W。

照明用は乳色スキガケ硝子金具ホワイトブロンズ仕上。



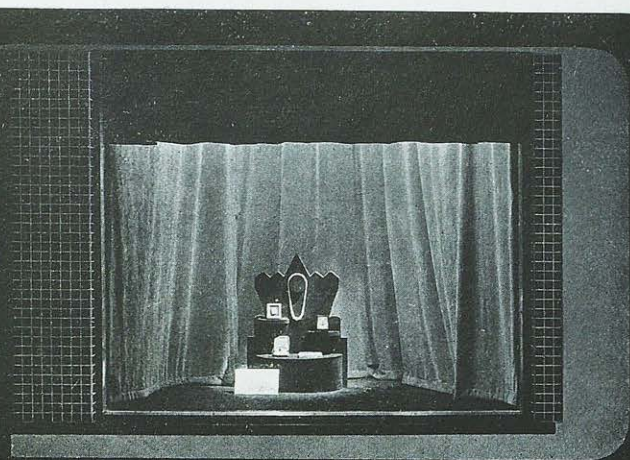
### 新照明學校應接室

壁燈は押型模様硝子の埋め込みで，PS-45 橙色10Wサインランプ1箇，天井燈は新製品トロジャリヤH型12吋を使用，電球は同一電球硝子内に超高壓水銀燈と白熱電球フィラメントの60W2本を入れたもので，白晝の自然光線と大差なく頗る明朗なものである。



### 貴金屬店の飾窓

貴金屬店の飾窓は、本來品物をキラキラ光らせることで一方のみを強度の光りで照射するとよろしい。100W 用小型スポットライトを1箇、美的効果をより強く與へる爲めに、反對側より着色青電球の100W 1 箇を使用。



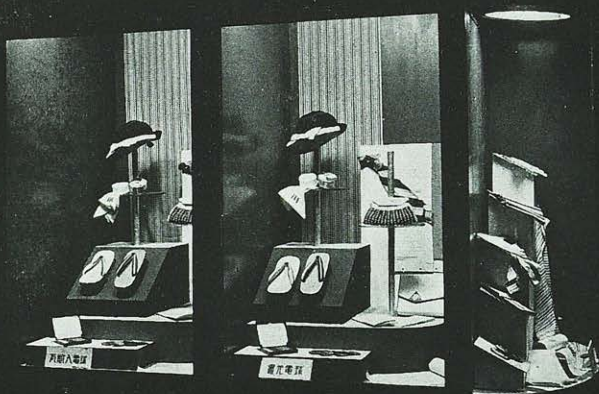
### 事務室前通路西側の飾窓

飾窓照明用鏡面反射笠K型5箇、電球150W×5箇、左側面光管電球 60W×5箇を使用しマネキン人形に對し、これを點滅して表情を變化させることも出来る。

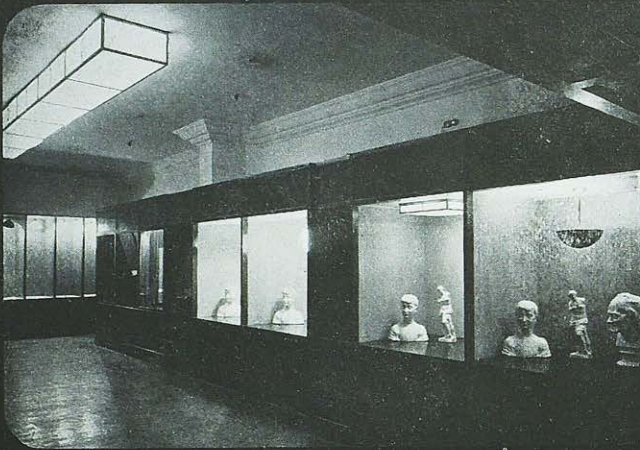


### 飾窓照明ブース

これは普通電球300W、晝光電球300W、眞色燈300W による照明の比較であつて、同一物品の色が光によつて非常に相違して見えるのであるが、寫眞ではそれが解らないのは残念である。







### 各種ブース陳列室の一部

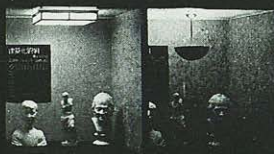
元の商店照明室で、講義室の前に當る部分であるが、その面影は僅かに天井灯にあるだけで、これも最近ではブースの効果を大にする爲めに間接照明に変更したい。



### 古燈器陳列室

住宅照明室前のブースを改造したもので、雛段を二段作り中に 150 W×10 箇所を入れて各段 9 箇所紙張りとしてあるが、中はK型鏡面反射笠 16 箇所150 Wを入れて居る。

左側は和室の電燈用の笠の變遷で、その裏に海外の古燈器を列べてある、中央は古燈器の一つであるが、それには 100W 1 箇所を入れて、この部屋の全般照明にしてゐる。



### 照明方式のブース

これはもつと廣範圍で作りたかつたのであるが、場所の都合で少なくて遺憾である、壁に照度曲線を畫いて平均照度と均齊度も出して置いた。

電球は全部 100 W 1 箇所づつ真中で半分に切れて居るのはあの中に此部屋のメーン・スイッチがある爲で仕方がない



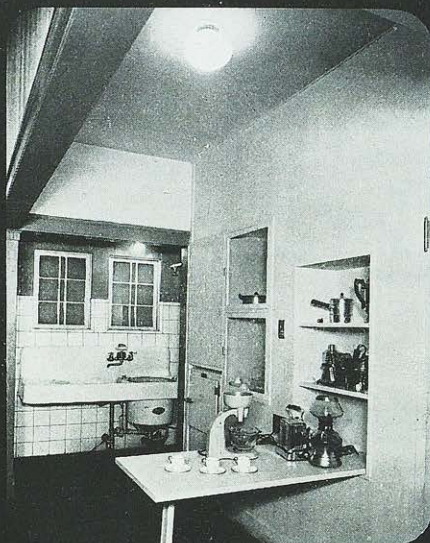
### 飾窓照明方法のブース

全部 150W の燐消電球を用ひて居り、照度は普及型照度計で測定した結果である故に大略の値で多少の増減はあると思ふが、前からあつたのと比較れば遙かに充實して居る



### 小電化臺所

來春の第二期工事までの間に合せて、臺所用の電気器具の数が少なくて淋しいが、當分はこれでも簡單なものなら相當澤山に實演が出来る。



### 住宅照明（日本間）

今迄の紙張直付器具を廢して四角のブラケットも取除いて、中央にこの照明器具1箇とした、これは昨年照明學會の住宅照明懸賞募集に關校長が一等に當選した内の一部である。

紙張り障子越の照明 200 W 晝光電球 7 箇は、その儘で寫眞の様に點いて居る。





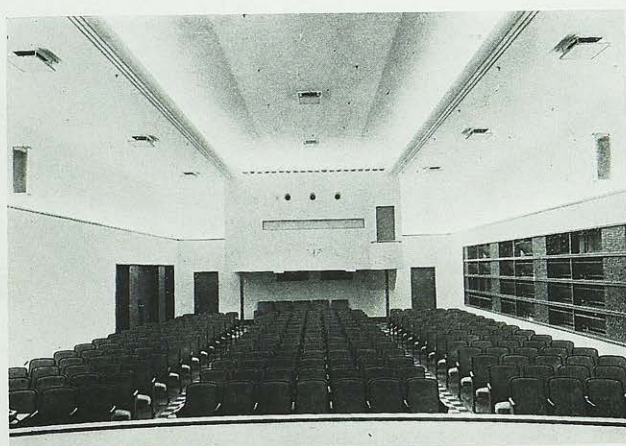
照明學校の改築に當つて新設されたマツダ講堂の舞臺照明に就いて、その概略を述べ該講堂の電気設備を御紹介しよう。

先づ舞臺の大きさであるが、これは間口一米、奥行七・五米で、背面には永久的構造のホリゾントが取付けてある。次に客席の大きさは間口一米、奥行一六米で、固定椅子が二二九個取付けられ、客席後方の中二階に二四平方米の映寫室が設置されてゐる。

舞臺照明の内、特に新機軸として設置されたものは、調光装置に格子制御整流管式調光装置（サイラトロン調光装置）と、葦外緑のみの照射に依る螢光照明とであつて、他は一般の舞臺と同様、舞臺照明に必要な各種照明器具が全部取付けてある。



マツダ講堂の内部



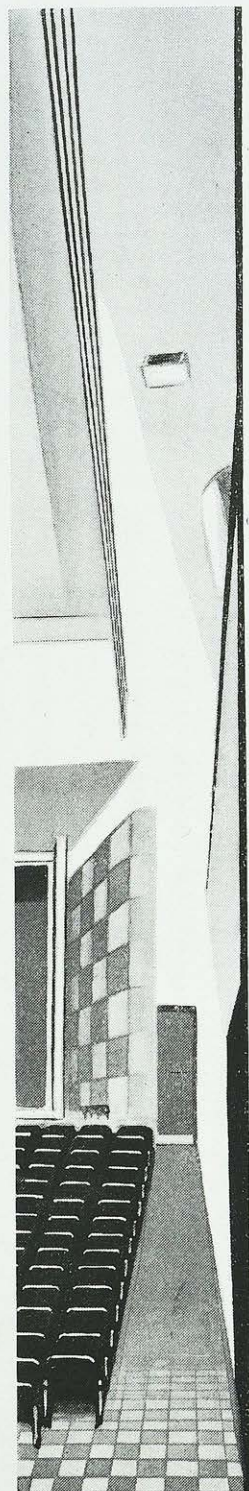
舞臺面より見た映寫室

## マツダ講堂の舞臺照明に就いて

荻

野

東京電氣・照明課 雄





## 舞臺照明器具

舞臺照明器具には固定器具と移動器具の兩者から成つてゐるが、固定器具の種類、電球の大きさ及び燈數、色別、容量等を表示すれば、第一表の如くである。

移動照明器具としては、スタンドスポット

第一表 固定舞臺照明器具

器具名	電球(W)	燈數	色別	容量(kW)
ボーダーライト	二〇〇	一八	三	三・六
フットライト	一〇〇	二五	〃	二・五
サスペンションライト	一〇〇〇	三	〃	三・〇
〃	五〇〇	六	〃	三・〇
アップ・ホリゾンタルライト	三〇〇	三〇	〃	九・〇
ロウアー・ホリゾンタルライト	一〇〇	六〇	〃	六・〇
クラウドマシン	三〇〇〇	一	一	三・〇
サイドスポットライト	五〇〇	六	三	三・〇
フロントスポットライト	一〇〇〇	三	〃	三・〇
董外線照明用器具	七〇〇	五	一	三・五

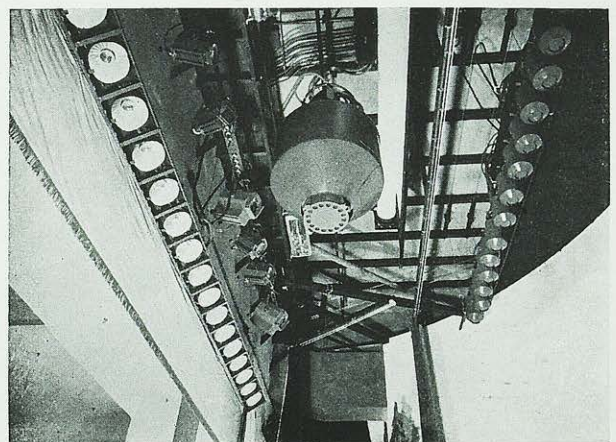
ライト、フラッドライト、ストリップライトエフェクトマシン等を各數個宛用意し、必要に応じて隨時隨所に使用出来るやうに、舞臺の床上及び天井に三キロワットのコンセントを六個、適當の個所に設備されてゐる。

董外線のみの照射に依る螢光照明は、アニリン染料乃至螢光塗料の色彩が、暗黒の舞臺

面に董外線のみ照射せられた時の、獨特な美しさを表現しようとしたもので、光源には特殊高壓水銀燈(七〇〇W)を用ひ、董外線濾光板によつて可視光線を吸集せしめる様に、特に器具を設計製作したものである。董外線のボーダーとフットライトが常置されて居る舞臺は他にはないであらう。

## 調光裝置

格子制御整流管式調光裝置を舞臺照明の調光用として使用することは、數年前より我社に於て研究してゐたが、この式の調光裝置が優秀なことは認められつゝ、も、種々の事情に依つて一般的に舞臺照明に應用されて、實現することは困難であつた。幸ひ照明學校の改築に當つて講堂が新設せられることになつたので、此處に始めてその實現を見るに至り、我が國舞臺照明界に一大エボックを造ることを得たのである。この調光裝置は我が姉妹會社、東京電氣無線株式會社によつて製作されたが、最初のことであるため係員の苦心と努力は想像に餘りあるもので、その完成



董外線照明用器具

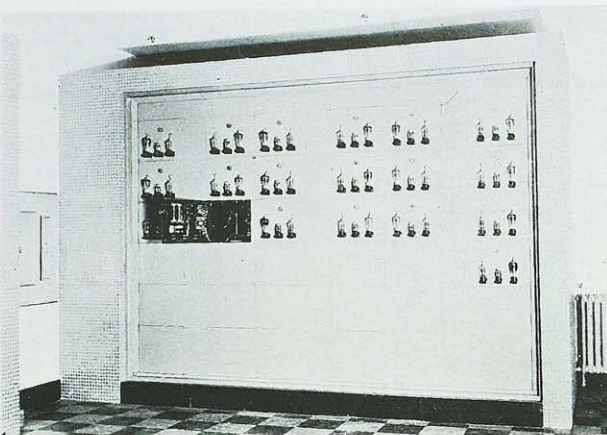
に深甚の敬意を表する次第である。

扱て、格子制御整流管式調光裝置は凡て遠方制御式であつて、寫眞の通り調光操作盤と制御盤との二つの部分に別れてゐる。調光操作盤は從來の調光配電盤と調光機の操作把手とを一つに纏めた様なもので、その形狀は頗る小型で體裁の良いものである。

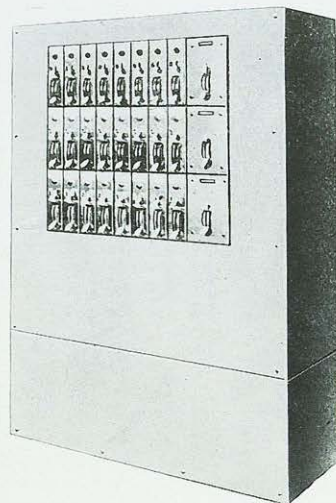
従つて是れは舞臺内のみならず、客席内にも設置することが出来る。制御盤はリアクトル、整流管、電磁開閉器等を取付けたもので、



本講堂に於ては其の構造を觀覽に供する爲、入口ホールに設置したが、一般劇場にあつて



調光制御盤



調光操作盤

は變電室とか或は他の適當な場所に設置せらる可きものである。調光裝置の回線數は二九回線で、その容量は第二表の通りである。

### 客席照明

客席照明は凡て間接照明に依つてゐる。天井中央及び兩側壁と二段に光源を隠し、前記の調光裝置に依つて調光操作が行はれる。調光操作は調光操作盤及び映寫室の二個所より自由に出来るようになる。客席内の平均照度は約二〇〇ルクスであるが、これは一般劇場には是れ程明るい

### 第二表 調光裝置の容量

調光器具名	容量(kw)	個數
ボーダーライト	一・五	三
フットライト	一・〇	〃
サスペンションライト	二・〇	〃
クラウドマシン	三・〇	一
アップバーホリズントライト	三・〇	三
ロウアーホリズントライト	二・〇	〃
サイドスポットライト	一・〇	〃
フロントスポットライト	一・〇	〃
コンセン	〇・五	一
客席	二・〇	三
客席	一・五	一

必要はなく、寧ろ過度の照度と云ふべきであるが、本講堂は主として多人數を收容する講習會の會場として使用する場合が多いので、特に明るく設計されたのである。

又プロセニアムの周圍には、格子制御整流管を使用しない別の真空管式の小型自動調光裝置に依つて、美麗な色彩照明を行ふことが出来るようになる。

舞臺照明とは關係のないことであるが、緞帳の開閉と映寫幕の昇降は電動機に依つて行ふもので、この操作は調光操作盤と映寫室の二個所より行ふことが出来る。

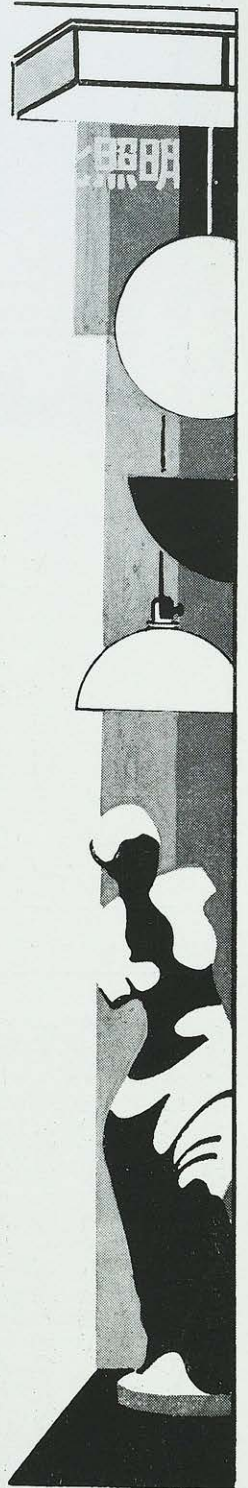
尙室内にはキャリヤー式の溫濕度調整裝置講演用の擴聲裝置及びトーカー映寫機等が設備されてゐる。

以上で本講堂に就ての概略を申し述べたつもりである。本講堂はその形態は小さいが、設備の點に於ては、舞臺照明としての凡ゆる器具を網羅して、他の一般講堂乃至一般舞臺に比して何等遜色を感じない、寧ろ新機軸を取り入れた點から言へば最も進歩した講堂であらうと、敢て自負する次第である。

この新しい試みに依つて、本邦舞臺照明界の將來に、何等かの示唆を齎すことを得るならば、それこそ望外の幸ひである。(完)



## 新照明學校が出来るまで



關 重 廣

新しい照明學校も到頭出来上つた。この前の照明學校が完成した時に、マツダ新報に照明學校號といふ特別號が出来て、その一番終ひに照明學校が出来るといふ一文を私が書いた。その時の氣持と今の氣持とは全く違ふ、前の時には何から何まで自分一人でやつたので、實に苦心をし、其中にも書いておいたやうに、途中で體を害して、發熱をおかして務めて居た時期もあつたのである。それが、完成した時の氣持に較べて、今回は全く樂な氣持で仕事をし、當然出来るものが當然出来上つた、といふやうな氣分で居る。

今度の照明學校の設計は此前と同じやうに守屋さんにお願ひした、これは此前の照明學

校の設計が優秀であつたといふことが、社内の誰にも知られて居た結果に他ならない、唯一部の人は從來の設計が非常に古めかしくて暗い重い調子なので、今度の照明學校はもう少し明るく出来ないであらうか、守屋さんに頼んだら、又あゝいふ古い設計になるのではなからうかと、心配する人もあつた。

併しながら、今回の新しい照明學校が完成してみた時に、それ等の心配が全く杞憂であつて、守屋さんは、我々一同の希望をすつかり満足させて呉れたといふことを誰も認めるであらう。新照明學校が出来上つて、多勢の會社の人々が入口に入つて来る時發する言葉は、明るくて宜いですね、とか綺麗で氣持が

良いとか云ふ言葉である。どのやうな様式のものでも、その様式の下に立派に設計を果された守屋さんに厚く敬意を表しておきたい。この前の照明學校の時には家具の選擇だとか、スイッチの高さだとか、一々調べたりなどして計畫を樹てなければならなかつたが、今回は照明學校にそれぞれ専門家が揃つて居たので非常に樂であつた。私は大體の計畫を樹て、他との交渉をして、仕事が圓滑に行くだけの心配をして居れば宜かつたので、配線は一切岡崎君が引受けて呉れるし、照明學校の設計、細かい設備等は守屋さんと福島君とが協力して、どん／＼遂行して呉れるし、さういふ人達が責任を以てやつて呉れるので、



自分は唯それが旨く行くやうに心掛けて居れば宜かつたのであるから、この前の時に比べて非常に樂であつた。

照明學校の工事が段々進んで來て忙しくなつて來たのは七月の終り頃であつた。所が照明學會で女學校の先生の照明講習會をやるから、その會場に新照明學校を使ひたい、といふやうな註文が出て來たので、それを引受けられるかどうかといふことが一つの問題であつた。女學校の先生であるから、八月の休みの間でなければ不可い、建築の守屋さんに訊くと、どうしても九月でなければ完成しないといふ話、施行をした清水組の人も、八月には到底無理だといふ話であつた。

所が私は考へた、かういふものは、唯期限を定めないでやつて居つても中々進まないもので、どうしても延び勝ちになる、一そ背水の陣をひいて、何でもその日迄にやらなければならぬといふことにすれば、又その氣持で早く出来ることもあらう、といふので思ひ切つて宜しいと引受けた、八月廿四日迄に必ず完成させてみせまうといふ返事をした、守屋さんもこれには相當弱られたやうで、清水組も私に對して恨めしく思つたかも知れない、併し兎に角やれるだけやつて呉れ、場合

によつては床なんか木張りのまゝでも宜い、壁の上塗なんか無くても宜しい。兎に角、會場を引受けられるだけの程度で宜いんだといふやうなことで工事を急ぎ出した。

併し私には幾ら急いでも、それが粗雑な工事になるといふ心配は無かつた。何となれば清水組は日本でも有名な信用のある建築會社であるし、それを監督して居る守屋さんは此前の經驗でも既に判つて居るやうに大事に大事をとる人で、所謂突貫工事等は到底出来ない人である。こちらが急がせる儘に幾ら速くてもやれますと安受合する人は心配であるが、守屋さんと清水組で引受けて居るのであれば、優良な工事の、範圍内に於て早くやるのであるから、少しも心配は要らない、さうして詰められるだけ詰めて八月廿四日に出來上り、講習會は廿五日から始まるといふことに決定された。

その日から工事が毎日夜の十時まで夜業が始まつた。電氣の工事は日本電氣工事株式會社に依頼したのであるが、この工事も亦非常に忠實に監督者から電工に至る迄、一心一體になつてしつかりした責任ある工事をして呉れたことは全く感謝に堪えない。その建築と電氣、その他舞臺設備、その協力の下にすん

／＼工事が進行して、約束の八月廿四日の夜、正確に言ふと徹夜して、八月廿五日の午前八時にはすつかり完成したのである。そしてその九時から講習會が始まるといふ極どい所であつた。

兎に角豫定の通りに完成したが、未だ／＼骨組が出来上つたに過ぎない。その後一ヶ月二ヶ月の間に、一日々々と色々の設備を加へて行き、又一方に於ては舞臺照明の設備も其時に出来なかつたので、後から少しづつ、工事にかゝつたが、何分日本で最初の調光裝置であるので、これを設計した東京電氣無線會社でも慎重な態度で居られるので中々涉らない、材料の製作が遅れ勝ちの上に試験の時日も豫定より延び、段々と遅れてゐるが、岡崎君外係員一同の數夜の徹夜作業の結果、到頭十月も終りの頃漸く完成した。

この舞臺照明だけは、他に類の無いものであらうと、ひそかに愉快の念を禁じられない、前にも書いたやうに照明學校はこれで終つたのではない、來年は未だ電化住宅とラヂオ室を造らなければならない、併しこの住宅は難しいと同時に面白いものであつて、自分は今その設計を考へながら、來年の工事を樂しみに待つて居るのである。



全國小學校兒童諸君  
中等學校生徒諸君

全國小學校兒童諸君  
中等學校生徒諸君

コイブカラ  
ノマモル  
募集規定  
昭和十三年七月一日  
昭和十三年九月十日  
募集（一）西方面部

良い、顯明 の通り	良し、顯明 の通り
--------------	--------------

右「海防」二二三頁下  
「良し、顯明の通り」  
右「海防」六五及六六二一三頁下  
「顯明の通り也」  
右「寺子屋」四七、「二七」上  
「國體之部」

[illegible][illegible]

長門郡長門町長門町  
 ラン  
 長門郡長門町長門町

祝と明音明聽の二大運動に協賛

年少女諸君から書方と圖畫の懸賞

うちから斯道の大家を煩して選  
の如き結果となつた。

ち一、二等のものは川崎高等女

方の如きは大人も及ばぬ達筆振  
は主にラヂオに關するもので、

紙面にあふれてゐる。

東京電氣株式會社

明燈明視と明音明聽の二大運動に協賛して

全國の少年少女諸君から書方と圖畫の懸賞募集を行つた所、兩者合せて約十萬の應募があ

り、そのうちから斯道の大家を煩して選を行ひ、次表の如き結果となつた。

このうち一、二等のものは川崎高等女學校と東京銀座松坂屋六階に於て展覽會を開催し

たが、書方の如きは大人も及ばぬ達筆振であり、圖畫は主にラヂオに關するもので、何れ

も童心が紙面にあふれてゐる。

少年少女書方圖畫の當選展を見る

編輯部

書方及び圖畫の一等に當選した方々の芳名

を次に誌して敬意を表する。

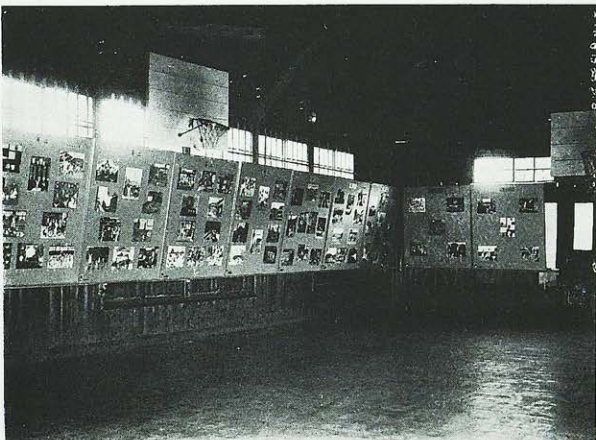
書方（二等）

尋一　タキトウオサム（愛知中島校）

尋二	村上	幸男（廣島福山東校）
尋三	安川	義弘（大阪天七校）
尋四	須田	簡（敦賀南尋校）
尋五	植竹	操（福井寶永校）



東京赤坂山王ホテル廣間に於ける審査



川崎高等女學校に於ける展覽會



明燈明視  
明音明聽

ヨイアカリ  
メヲマモル  
中島 一ネン タキトウオサム

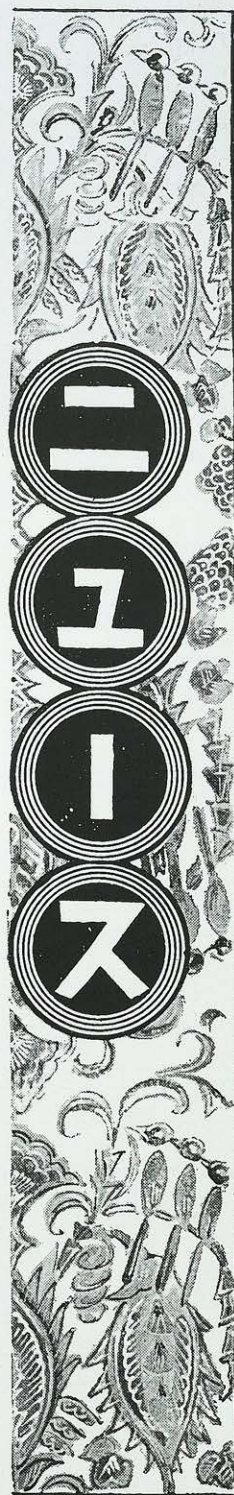
A black and white photograph showing a group of approximately 15 children in an outdoor setting. In the center, a group of children stands in a loose circle, many with their arms raised. To the left, a large, patterned flag or banner is visible. In the background, there is a wooden structure that looks like a small tower or observation post. In the foreground, several more children are standing, some with arms raised, and one child is standing on the far right, looking towards the group. The ground appears to be dirt or grass, and there are some trees or bushes in the background.

書方圖畫學年及男女別各等當選者一覽表 (一一、三〇名)

[illegible]

中二	中一	高二	高一	尋六
高橋千鶴子（吳市立高女	野上 清忠（富山工業校）	山崎 毅（兵庫大津尋高校）	柳本 敬子（北海道譽平校）	牧田千枝子（靜岡安東尋高校）
			小泉久美子（東京駒本校）	金 周 坤（岡山玉島尋高校）
			神田沙緒利（廣島已斐校）	宮原マサエ（鹿兒島垂水校）
			保知 璋三（滋賀安土尋高校）	尋一
			尋二	尋三
			尋四	尋五
			尋六	高一
			高二	中一
			中二	圖
			書（二等）	
			山野 靜枝（熊本技女校）	
			森部 久男（福岡工業校）	
			望月 弘（山梨楠甫校）	
			遠藤 定晴（靜岡井頭分校）	
			後藤貴美子（神奈川東臺校）	





照明

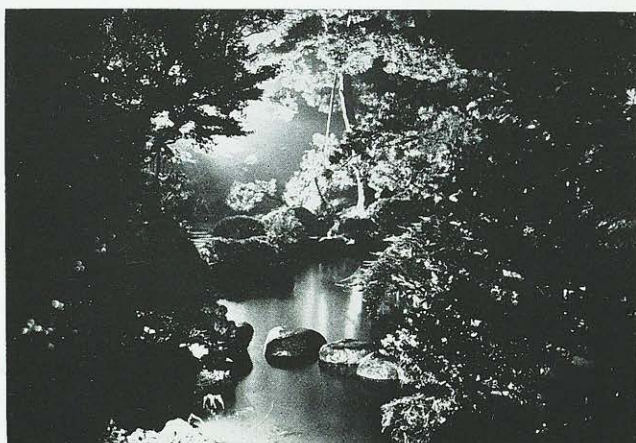
庭園の高圧水銀燈照明

高圧水銀燈の爽快清涼な光調が如何に庭園照明に相應しいものであるかは、今更贅言するまでもあるまい。

今回八王子市元横山町割烹店若松樓庭園内に設備した高圧水銀燈は當市庭園照明の魁として、多大の賞讃と注目とを集めて居る。

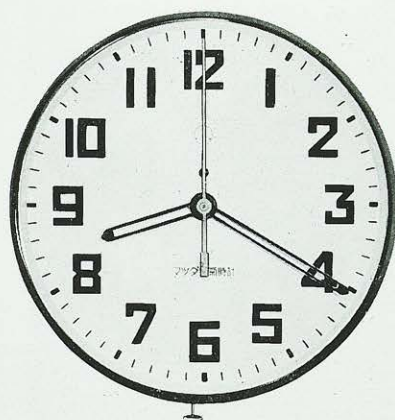
典雅幽邃を誇り其の精緻微妙な造園技巧に卓越した地位を占める日本の庭園が、近代科學の最も新しい照明の効果に依つて、一段と其の美麗さを増す事は蓋し當然と言ふべきである。そうして其處にこそ、陰影に富んだ趣のある日本的庭園照明の醍醐味が存在すると言ふ事が出来るのであらう。

(東京電燈・八王子營業所)



八王子市の割烹店若松樓の庭園照明

製品



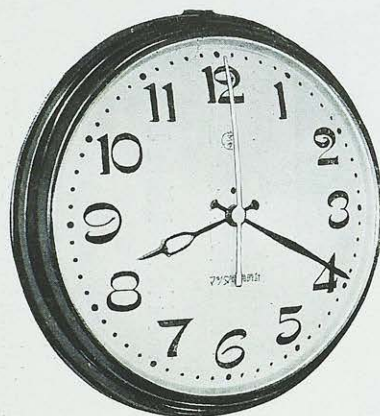
S-280 型 電 氣 時 計

新型マツダ電氣時計の發賣

待望の目覺置時計の發賣と共に、各種新型のマツダ電氣時計が新發賣になつて、價格の點に於ても、亦形狀の點に於ても、一般需要家の要求を充分に満し、正確な示時に奉仕するマツダ電氣時計の一般化に、更に拍車をかけることとなつた。

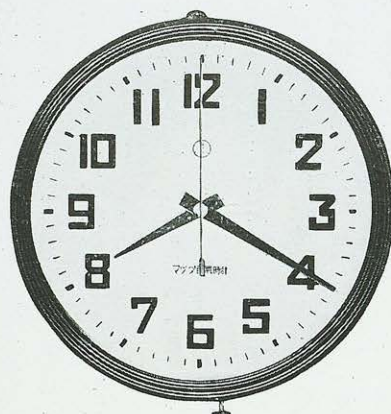
モデル S 上二八〇 文字盤徑一〇吋





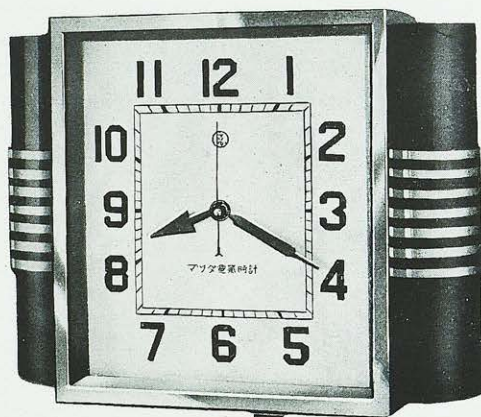
S-117 型 電 氣 時 計

金属枠補助ゼンマイ附掛時計  
モデルS-117 文字盤径一二吋  
定 價 二〇・七〇 円



A-242 型 電 氣 時 計

金属枠 切立型掛時計  
モデルA-242 文字盤径一二吋  
定 價 一〇・九〇 円



A-116 型 電 氣 時 計

木 枠 半 球 型 掛 時 計

定 價 二一・五〇 円

モデルA-116 文字盤径九吋

木 枠 クローム 飾り 附 掛 時 計

定 價 二五・〇〇 円

モデルS-509 文字盤径六吋

木 枠 マホガニー 塗 仕 上 掛 時 計

定 價 一・五〇 円

モデルS-100七

文 字 盤 径 二・五 吋

金 属 製 シェード 附

ホワイ ト ブロ ン ズ 仕 上

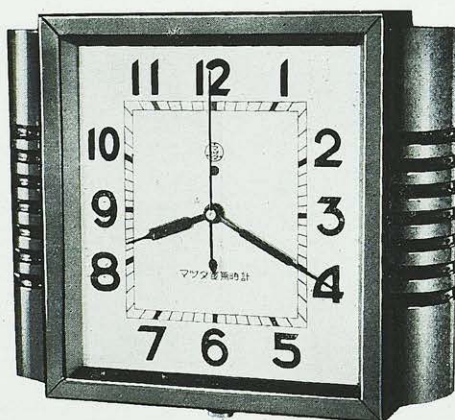
定 價 三二・〇〇 円



S-1008 型 電 氣 時 計



S-1007 型 電 氣 時 計



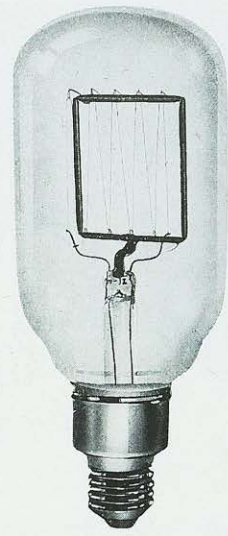
S-509 型 電 氣 時 計



モデルS-100ハ 文字盤徑二・五吋  
絹シエード明視スタンド附  
定價 三〇・〇〇<sup>円</sup>

### 定方向型測光標準電球

定方向型測光標準電球の構造に就ては、既に寫眞の様にフィラメントを平面に架けたも



のが、その性能上有効である事を逓信省電気試験所でも證明せられ、從來共この型にて發賣せられてゐたが、枠が硝子製であつたため測定に當つてその反射が防げる場合もあり、更に運搬、取扱中に破損の危険も多い缺點があつた。今回この枠を光澤の無い特殊の金屬で構成することにした爲、前記の反射が無くなり、更に破損の憂は皆無となつた。既に逓信省電気試験所でも御指定となり、一般にこの型式を標準として發賣してゐる。(湯川)

### 照明學校

### 九月中の參觀者

長期間に亘り新築工事中であつた照明學校も、この程第一期工事が九分通りの竣工を見るに至つたので、九月より一般參觀者の見學を受付けることとなつた。

工事の遅れた舞臺照明、街路照明も着々進行させ、その完成を急いでゐる。

一般參觀者の統計を見ると、新改増築落成が未だ一般に知られて居らぬために、左記の團體參觀者を併せて五一二名と云ふ僅少さであつた。

#### 陸軍飛行學校

- |                |      |
|----------------|------|
| 東京電燈會社管内工場主    | 二〇名  |
| 京成電気軌道株式會社     | 四〇名  |
| 早稻田大學法學部會委員    | 二〇名  |
| 山形縣立鶴岡工業學校     | 五三名  |
| 神奈川縣立商工實習學校工學部 | 二〇名  |
| 神田商業學校         | 六〇名  |
| 松本高等女學校        | 三〇名  |
| 田邊商店廣告研究會員     | 二〇名  |
| 小計             | 三〇八名 |
| その他一般參觀者       | 二〇四名 |
| 合計             | 五一二名 |

### 雜報

### 阪神電車の工場照明研究會

工場照明の改善による増産を企圖して、阪神電気鐵道會社では當社と共同主催の下に、大阪に於ける工場經營主に呼びかけ、その改善促進の爲めに工場照明研究會を去る十月十四日に開催した。

來會者七十餘名で當社よりは照明課土居技師が出席して「照明の改善と能率増進」の演題の下に講演をなし多大の示唆を與へた。

猶會場には當社製ファクトリヤ、時間計、時間スイッチ、照度計、明視計、其他工場照明に必要な製品並に文獻等を陳列して來會者の參考に供した。

尙講演後明燈明視を主題として當社が作成したトーカー・フィルム「光を與へよ」を封切して多大の好評を博した。

### 陰極線オシログラフ座談會

陰極線オシログラフの利用が漸く盛ならんとする今日、我社では東京電気無線會社と共同主催の下に、九月二十日午後四時より共同建物ビルに於て陰極線オシログラフ裝置に關する座談會を催した。

當日は星合正治氏(東京帝大)、丸毛登氏(放



送協會)、黒川兼三郎氏(早大)、藤三郎氏(東京朝日)、鈴木松雄氏(工大)、根岸博氏(電氣試験所)、中西不二夫氏(航空研)等の諸權威が一堂に會し、陰極線オシログラフの過去、現在、將來に關する御高説を拜聴出來たことは、我社製品の改良發達の上に多大の示唆が與へられ、有意義な會合であつた。

### 自動車工業振興展への出品

本邦自動車工業の改善發達を圖る爲、商工



陰極線オシログラフ座談會

省主催の下に、去る十月十四日から二十七日までの二週間、東京上野公園不忍池畔の日本産業館内に於て、自動車工業振興展覽會が開催された。

國際情勢の逼迫した折とて、國產自動車を始め、國産に係る自動車部分品、附屬品、材料及び關係品、並に參考品等、場内には我國自動車工業の粹を集めてをつた。

我社ではマツダ自動車電球各種、並に各種自動車用照明器具を出品した。猶東京の展覽



自動車振興展に我社の出品

會終了の後は、名古屋及び大阪に於て同一趣意の下に展覽會が開催される由である。

### 高層建築とマツダコンチット

電氣利用の高度化と共に、建築物内に利用される電氣は各方面に及び、爲めにその安全と利便とに奉仕するコンチットチューブの利用は益々多きを加へて來た。

最近大阪、京都で竣工した高層建築物のうちで、マツダコンチットチューブ使用のものを左に御紹介申上る。

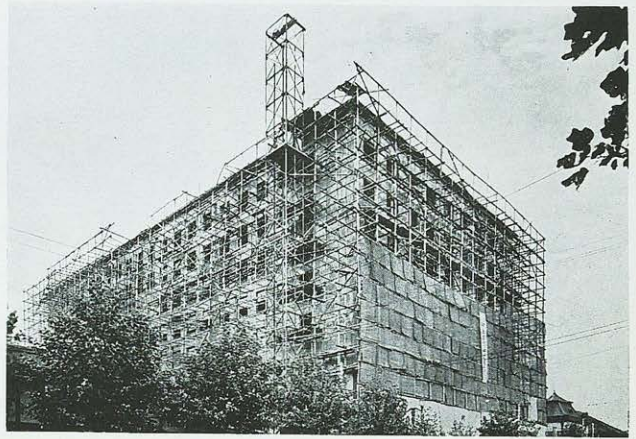
京都祇園歌舞練場

六〇、〇〇〇尺

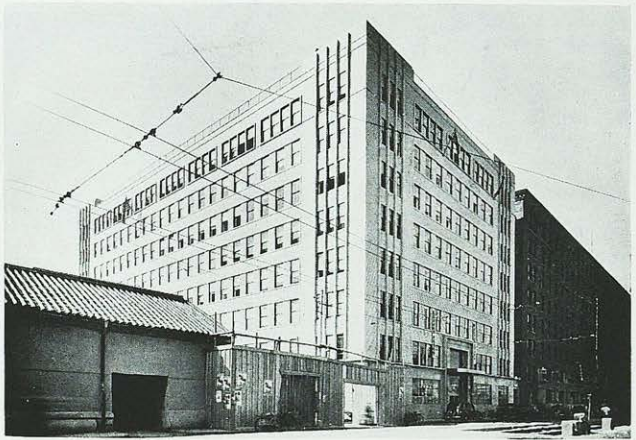


京都祇園歌舞練場





京都丸紅商店



大阪商船ビルディング



大鐵の大阪百貨店

京都丸紅商店 一〇〇、〇〇〇尺  
大阪商船ビルディング 六〇、〇〇〇尺  
大阪百貨店 一二〇、〇〇〇尺

### 共同建物ビルの稱呼變更

我社銀座賣店及び東京出張所の存在する東京市京橋區數寄屋橋々畔の共同建物株式會社の建築は、從來共同建物ビル或はマツダビルと稱稱されてをたが、十月一日より『マツダ・ビルディング』と通稱されることにな

り、しかし社名は従前通り共同建物株式會社と稱せられる由。

### 當社心齋橋賣店の飾窓

商都大阪の繁華街の中心である心齋橋通りの中央に位して、當社製品の宣傳に地の利を占めてゐる我社の心齋橋賣店では、そのウインドウにマツダ電氣時計の各種を時計型に模して陳列し、行人の目を引きつけ、販賣への強力な效



大阪賣店の飾窓

果と價值とを發揮してゐる。



## ファイバードクト及び コンチット披露會

豫てから計畫されてゐた我社一手販賣品ファイバー製品及び其工場披露招待會は九月二十五日を期して華々しく舉行された。招待者は關東方面を主とする官廳關係々員、電氣事業者、建築設計事務所、電氣設計事務所、電氣工事請負者、電氣材料商、自家用電氣事業者、業界新聞雜誌社等の有力者約三百五十名



帝國堅紙工場の見学

で、出席者三百名以上と云ふ盛況であつた。當日は一點の雲もない快晴に恵まれ、そのうへ土曜日の午後であつたので、招待者は定刻一時には既に第一會場たる共同ビルの我社東京出張所に續々と參集された。

第一會場にはファイバードクト及びコンチットを始め將來の大發展を約束される我社製品、新型照明器具、オートレー装置、自動扉開閉裝置、ホトリレー裝置、電磁計數器、硝子ブロック各種、テコライトベニヤ板及びテコライト製ドア・ハンドル各種、メートル類、時間スイッチ等であつた。

殊に本日の主題たるファイバードクト及びコンチット其他これが附屬品はまだ未知の方が多數で、何れも興味が湧き盛んに質問があり、又銀座賣店の好意で店内に設けられたファイバードクト使用狀況の實際的模型は、參會者にファイバードクトが如何に便利で合理的なものであるかを深く印象に残した。

第一會場に參集された招待者は小憩の後、自動車を連ねて第二會場たる板橋區志村の帝國堅紙工場へと向つた。

折柄雨上りの秋晴れの武藏野を、心地よい微風に頬を打たせつ、やがて第二會場に到着すれば、歡迎の大文字も鮮やかに、製造機



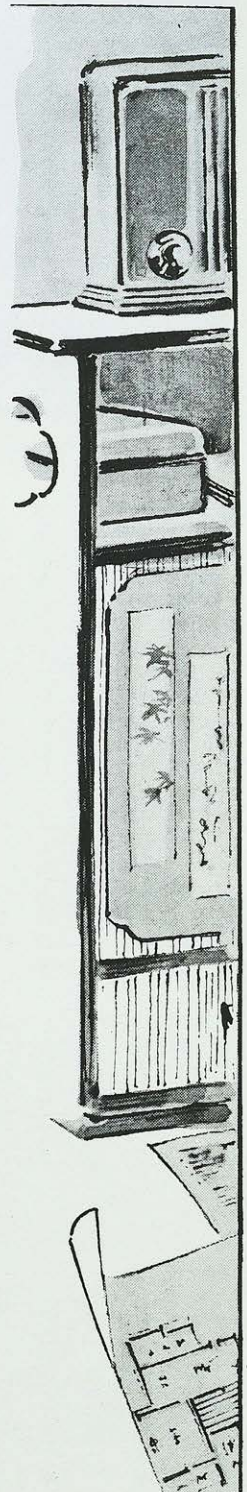
休憩所に於ける餘興

械がフルスピードで運轉する中を、順次見学して青天井下の休憩所に落着いた。この休憩所の横にはファイバードクトの施行實演及び大型模型が設けられ、參會者の印象と理解とを一段と深くし、次いで休憩所では萬歳などの餘興もあつて、マネキン嬢の歡待と共に參會者の氣分を更に和やかなものとした。

本招待會に當つては帝國堅紙株式會社の各位及び共同建物會社員の一方ならぬ御盡力を深く感謝致す次第である。

(濱野)





# 生活の宿題

日吉早苗

「どういふ風にしようかしら。バンガロー風にしようか。それとも、氣の利いた日本風にしようか——」

翠女史は机の上にケント紙を擴けて、しきりに首を捻つてゐる。

「間數は幾つあつたらいいかしら。居間に應接間に、御主人の部屋に奥さんの部屋に——。それとも、御夫婦の部屋は、共同でいいかしら。」

茲まで考へて來ると、女史は何時も憂鬱になるのだ。といふのは、彼女は自分の住む家を設計してゐるのではないのである。

彼女は綺麗で聰明だから年よりは若く見えるけど、今年卅二で、女學校の數學の先生で、そして獨身である。勤續十年、もう奏任待

遇で年功加俸も附いてゐる。母親が亡くなつてからは一人で小さな家を借りて、婆やを置いてゐるのだが、男と違つて別に道樂もないので、金は溜るばかりである。溜れば殖したいのが黄金の病で、それに數學の教師だけに、直ぐ利殖の方法が頭に浮かぶのだ。追がに相場だけはやる勇氣が出なかつたが、ふと思ひついたのは家作を建てることだつた。教員を相手に家を貸せば、これは絶対に安心だと思つたのである。

「貧乏暮しは、お母様の見本を見て、もう懲り／＼。お金さへあれば、お金さへあれば——」

翠女史にとつては、金は恰で戀人である。女が奏任待遇になどな



ると、ますます適當な結婚の相手すくなが尠くなるし、お年はお年だし、考へて見ると、彼女が男よりも金を愛する様になつたのも、また願けないこともない。といふ譯で、女史は學校から歸つて來ると、毎日、かうして貸住宅の設計をしてゐるのだ。

「あたし、貴女に冷やかされる覺悟で來たのよ。」

其處へ、やはり學校の同僚で、まだ若い福田嬢が訪ねて來た。

「どうしたの？ 藪から棒に——」

翠女史はケント紙を收しまひながら、姉さんらしく微笑んだ。

「あのね、あたし結婚するかも知れないのよ。」

「まア。一體かたどんな方、脊の君は？」

「どんなつて——、いづれ御紹介するわ。病院に勤めてゐるまだ

若い醫學士よ。」

「それはお目出たう。それで貴女、近頃ソワ／＼してたのね。とても嬉しさうだつたわ。」

翠女史は、福田嬢の希望通り冷やかしてやつたが、今設計してゐる住宅をこの人達の新婚の家に貸してやらうかと、胸算用をした。

「あら。あんなことを——。貴女だつて昨日、青年と歩いてたぢやないの。随分ソワ／＼してたわよ。」

「あら。貴女、見てたの？」

これには翠女史も赤くなつた。事實、昨日の夕方彼女は或る青年と歩いてゐた。しかしその青年とは、別に何もないのである。彼は若い作曲家で、國が同じ東北なので、偶然の機會に識り合ひになつ

たのだが、頭の毛をモシヤ／＼にして深刻な顔をしてゐるところは、恰あたるで東北産の小熊である。それに年が自分より下だし、無名の作曲家だから經濟的能力がない。

「誰があんな熊みたいな男にソワ／＼するもんですか、あれは貴女、音楽のことで話が合ふから附き合つてゐるだけよ。あたし音楽は好きだけど、獨立の生活能力のない男と結婚するなんて眞平まへらだわ。」

翠女史は奏任待遇のプライドを示した。

「それはさうね。そこへ行くと、醫者はいゝわよ。醫者つて貴女着物を着てゐる時でも藥の匂ひがするのね。あたし、初めは厭いやだつたけど、もう慣れたわ、却つて藥の匂ひがしないと物足りない位よ。一種の體臭たいしゅうね。」

福田嬢はそろ／＼、際きばどいところを發表し出した。

×

「福田さん、歸つてるかしら。寄つて見ようかな。」

翠女史は坂の上で立ち停つた。學校の歸りである。坂を右に降りれば女史の自宅、左へ降りれば福田嬢の下宿である。女史は左へ降りた。福田嬢の下宿の玄關に立つた時、女史は「これは不可いけないわ。」と思つた。エナメルを塗つたキツドの靴と、金の飾りの附いた細身のステッキを其處に發見したのだ。

「御免なさいね。あたし今日差支さしつかへがあるのよ。」

福田嬢は二階から降りて來て、眞赤な顔をして玄關拂ひの辯解をした。



「彼氏が來てるんでせう？」

「あら、分つたの？」

「分るわよ。消毒藥臭い體臭がブン／＼するわ。」

女史は態と、靴やステッキを見ないで言つた。聊か溜飲の下がる思ひがした。

「折角來て下すつたのに濟まないわね。後でこちらからお伺ひするわ。」

「いゝわよ。」

云ひ捨て、女史は出た。出て暫らく歩くと、例の東北産の小熊に逢つた。

「僕、今夜放送に出ます。」

餘程嬉しいと見えて、その青年は會ふと直ぐ云ひ出した。

「まア、放送に——？」

女史は、この青年にそんな才能があつたのかと、驚いた。

「えゝ。やつと認められましたね、今晚、僕の作曲を僕が解説するんです。八時半からですから聽いて下さい。僕、貴女一人を目當てにしてやります。」

青年は情熱的な眼で女史を見た。女史は、こんな美しい眼を見たことがないと思つた。

「是非聽かして頂くわ。放送が濟んだらあたしの家にお寄りにならない？ お待ちして居てよ。」

女史は少女の様に胸を躍らして青年と別れた。今玄關拂ひを食つ

た所爲か、あんな氣障な醫者よりは、あの小熊の様な青年の方が、よつぽどいゝと思つた。

×

何日なら、學校から歸ると直ぐ取りかゝる宿題も忘れて、翠女史は八時半のラヂオを只管待つてゐた。宿題といふのは、例の貸住宅の設計である。女史にとつて、これほど厄介な宿題はない。夫婦の居間のところへ來ると、何時も頓坐してしまうのだ。

八時半は來た。女史は待ち兼ねて、ラヂオにスイッチを入れた。

——この「野火」は、ピアノとフルートから出來てゐる小品で、私が少年時代を送つた東北地方の叙情曲であります。それでは、これから——

簡単な作曲家の解説があつて、「野火」の演奏が始まつた。東北訛のある、沈み勝ちなあの青年の解説の聲が、何となく女史の心を撃つた。あの言葉は、あたし一人を目當てに云つてゐるのだ——さう思ふと、モシャ／＼頭やズングリ姿が見えないだけに、餘計言葉に親みが感じられた。それに、會つて話をしてゐると氣が付かないが、かうして聲だけ聽いてゐると、その東北訛が、妙に、亡き母親のアクセントに似てゐることを發見した。

「野火」のメロディそのものも、よかつた。女史は我を忘れて、ウツトリと聽き惚れてゐた。

「あの、福田先生が——」

婆やが報告した。甘い夢を破られて、女史は玄關へ飛び出した。



「先刻は御免なさい。お詫びに來たのよ。」

福田嬢は間が悪るけに云つた。

「い、え、お互ひですもの。生憎今度はあたし差支へがあるのよ。」

女史は會心の一矢を酬ひた。

「え？」

「今ね、ラヂオの音楽を聴いてるの。ホラ、貴女が冷やかした例の青年ね、自分の作曲を解説したのよ。あたし、獨りで靜かに聴きたいから、今夜は失禮するわ。」

「まア、それぢや矢つ張り、あれ貴女の彼氏だつたぢやないの？」

あんな者、何でもないなんて白を切つて、酷いわ。」

福田嬢は見事に虚を衝かれて、敦圍いた。

「だつてホ、。ほら、ラヂオが聴えるでせう。あれよ。仲々い

でせう。それに、ラヂオは消毒薬臭くはないことよ。」

女史は完全に勝ち誇つた。

「あたし歸るわ。お楽しみのお邪魔をして済みませんでしたね。」

福田嬢はブン／＼して歸つて行つた。

翠女史はニヤ／＼しながらラヂオの前へ戻つた。音楽の「野火」

は、もう終つてゐた。だが女史の胸には、艶めかしい「野火」が燃え擴つた。早くあの青年の顔が見たくなつた。

「さうだわ。かういふ時に宿題をやつたら、うまく行くかも分らないわ。」

ふと思ひ付いて、女史は急いで例の設計圖を擴げた。女史は夢中

で定規と烏口を動かしてゐた。時間の經つのも忘れてゐた。

「如何でした？」

氣が附いて見ると、其處に青年が立つてゐた。もう放送局から歸つて來たと見える。

「あら。あたし、宿題がスラ／＼解けさうなので、いらつしやつたの知らなかつたわ。『野火』とても素敵でしたわ。」

女史は赤くなつた。

「宿題つて仰有いましたね。先生でも宿題をやるんですか。」

「ほ、。學校の宿題ぢやないことよ。生活の宿題よ。」

「生活の宿題といふと、つまり結婚ですか。」

「まあ然るものね。御覽なさい。」

女史は殆ど出來上つた設計圖を指した。見ると、主人の部屋と細君の部屋が一つになつてゐる。

「貴方が作曲をおやりになるし、あたしも音楽が好きだから、二人の部屋を一緒にしましたの。」

女史は青年を見て嫣然と笑つた。

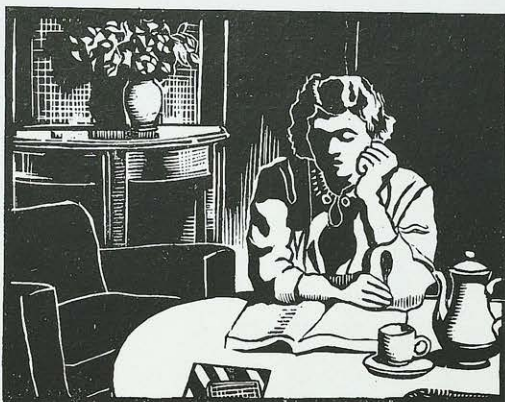
「えッ、ぢや、あの僕と結婚を——？」

青年の聲は喜びに弾んだ。女史は黙つて起ち上つて青年の肩を抱いた。

机の上の設計圖は、何時の間にかスウキト、ホームの設計圖になつてゐたのだ。貸住宅の設計は、先刻の「野火」に燒かれてしまつたと見える。



編輯後記



夏に雨が少なかったせいか、今年には秋に入ってから雨が多かつたやうに思はれた。秋雨もたまには懐しいものであるが、長続きされては迷惑千萬である。

卷頭の伊藤工學博士の「ラヂオ普及上より見たる農村配電線路改善の急務に就て」は、支那事變によつて一層その重要性が痛感され、毎日の戦況ニュースの如きは國民として多大の關心がもたれる折柄、業界各位がこの方面に一層の御盡力を偏に御願する。

新照明學校の設備のうちで飾窓は殆ど實物大に作られ、そのうちに陳列された各種商品には、尤も適切な照明が施されてゐる。それと新にマツダ講堂が出来てそこには日本で初めての格子制御整流管式調光裝置が採用された。その他建築並に電氣設備等に就ては本文の御精讀を冀ふ。

北支に上海に皇軍の向ふところ敵なしと云ふ有様である。

新照明學校も第一期工事が愈々出来上つた。本誌前號でも一部は御紹介したが、本號は新照明學校號として、その全貌を特輯記事によりお知らせすることとした。

本誌の記事、寫眞等を御轉載の場合には、一應當方に御断り下さるか、或は「マツダ新報より」と御明記の程をお願いいたします。

先般來行はれた國民精神總動員の主旨を體し、銃後の守りを堅くすることが、戦線にある我が同胞に對する唯一の任務と信ずる。

新照明學校も第一期工事が愈々出来上つた。本誌前號でも一部は御紹介したが、本號は新照明學校號として、その全貌を特輯記事によりお知らせすることとした。

本誌の記事、寫眞等を御轉載の場合には、一應當方に御断り下さるか、或は「マツダ新報より」と御明記の程をお願いいたします。

昭和十二年十一月十日印刷  
昭和十二年十一月十五日發行  
定部三十五錢  
（郵送料共）

東京電氣株式會社  
編輯兼發行人 米山清三  
東京市本所區厩橋一丁目廿七ノ二  
印刷人 西尾眞八  
東京市本所區厩橋一丁目廿七ノ二  
印刷所 凸版印刷株式會社  
神奈川縣川崎市堀川町七二  
發行所 東京電氣株式會社  
電話 川崎代表番號三五六（四）  
大森代表番號七五〇（四）  
振替口座東京三八九四四

出張所

東京	大阪	京都	金澤	廣島	名古屋	仙臺
事務所 東京市京橋區銀座西五ノ二 電話銀座（四）代表番號 一五七（一） 一八九	事務所 大阪市西淀川區大仁東ノ六 電話（四）代表番號 三五五（一） （六）	事務所 京都市上京區四條通御旅町三 電話本局（四）一九六（八） 九	金澤市片町一五 電話市片町一五 四六	廣島市千代田ビルディング内 電話市千代田ビルディング内 二	名古屋市中區廣小路通六ノ三 住友ビルディング内 電話本局（四）二五九 八七	仙臺市國分町一三五 電話市國分町一三五 二
札幌	福岡	小倉	臺北	京城	大連	奉天
札幌市南二條通西四丁目北門ビル内 電話市南二條通西四丁目北門ビル内 八	福岡市天神 電話市天神 九	小倉市大坂町十一丁目一三五 電話市大坂町十一丁目一三五 六	臺北市本町二ノ四六 電話市本町二ノ四六 八	京城府長谷川町七四近澤ビル内 電話市長谷川町七四近澤ビル内 九	大連市榮町三五（連鎖街本町通角） 電話市榮町三五（連鎖街本町通角） 二	奉天市加茂町二番地三井ビル内 電話市加茂町二番地三井ビル内 九
上海	哈爾濱	新京	哈爾濱	上海	三井物產	上海支店
上海 電話市 三井物產上海支店 內	哈爾濱 電話市 中央大街七七八 五號	新京 電話市 大同大街三〇一號康德會館內 六	哈爾濱 電話市 中央大街七七八 五號	上海 電話市 四川路一七八五 號	三井物產 上海支店 內	上海支店 內



# 無線電信電話送受信機

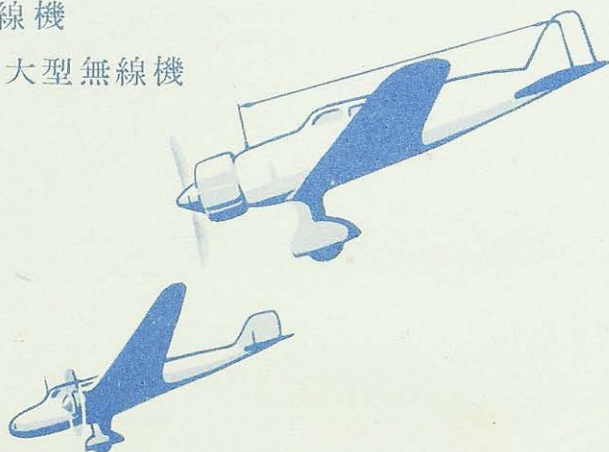
航空機用無線機

船舶用無線機

車輛用無線機

移動用各種無線機

固定用、放送用大型無線機



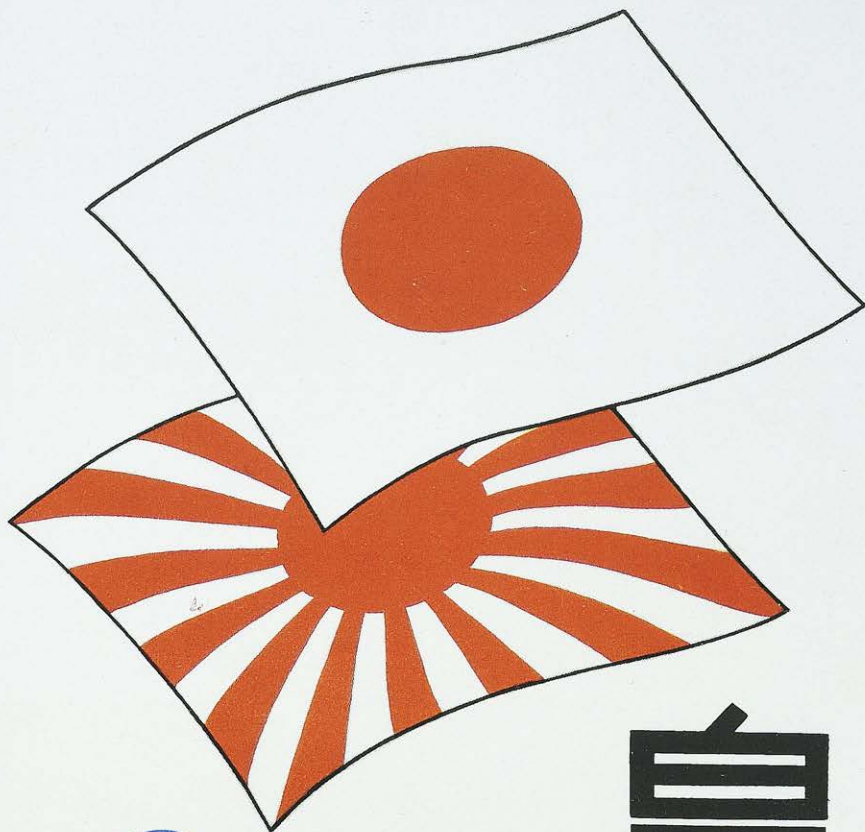
各用途に應じた型録を用意し

てありますから御申越下さい



川崎市 東京電氣無線株式會社





皇軍萬歲

陸海軍將士の  
御奮闘を深謝す



マツダランペ